

## 2024年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		レストラン概論 I		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	前期	配当年次	1年	実務経歴 ホテル経験(料飲・宴会)24年 ピュアプランニング代表(ブライダル・カフェ営業)10年	
授業形態	演習	単位区分	必修		
授業回数	17回	授業時間	2単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 現場での経験や知識を活かして、教科書・実技・各種資料などを用いて授業を進めていきます。					
授業概要(学修内容・方法) / Course Description 教科書『西洋料理・料飲接客サービス技法』をベースに、知識や技術を「知る・理解する・出来る」ようになるまで指導していきます。おもてなしの基本となる心得のところも落とし込んでいきます。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 1年次におきましては、「知る・理解する」をテーマにして幅広く講義していき、興味・関心を持ってもらいます。					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第1回/Class 1	自己紹介				
第2回/Class 2	概要説明				
第3回/Class 3	接客の基本①				
第4回/Class 4	接客の基本②				
第5回/Class 5	接客の言葉づかい①				
第6回/Class 6	接客の言葉づかい②				
第7回/Class 7	什器備品の知識①				
第8回/Class 8	什器備品の知識②				
第9回/Class 9	管理業務①				
第10回/Class 10	管理業務②				
第11回/Class 11	テーブルセッティングの実技・知識				
第12回/Class 12	試験対策①				
第13回/Class 13	試験対策②				
第14回/Class 14	前期試験				
第15回/Class 15	前期試験 フィードバック				
第16回/Class 16	食前酒について				
第17回/Class 17	テーブルマナーについて				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 西洋料理 料飲接客サービス技法 第3版					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	レストラン概論Ⅱ		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
				実務経歴
開講時期 Term	後期	配当年次	1年	ホテル経験(料飲・宴会)24年 ピュアプランニング代表(ブライダル・カフェ営業)10年
授業形態	演習	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 現場での経験や知識を活かして、教科書・実技・各種資料などを用いて授業を進めていきます。				
授業概要(学修内容・方法) / Course Description 教科書『西洋料理・料飲接客サービス技法』をベースに、知識や技術を「知る・理解する・出来る」ようになるまで指導していきます。おもてなしの基本となる心得のところも落とし込んでいきます。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 1年次におきましては、「知る・理解する」をテーマにして幅広く講義していき、興味・関心を持ってもらいます。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/Class 1	食材・飲料等の基礎知識① 食品について			
第2回/Class 2	食材・飲料等の基礎知識② 西洋料理について			
第3回/Class 3	食材・飲料等の基礎知識③ 飲料について part.1			
第4回/Class 4	食材・飲料等の基礎知識④ 飲料について part.2			
第5回/Class 5	食材・飲料等の基礎知識⑤ 飲料について part.3			
第6回/Class 6	食材・飲料等の基礎知識⑥ メニューについて part.1			
第7回/Class 7	食材・飲料等の基礎知識⑦ メニューについて part.2			
第8回/Class 8	食材・飲料等の基礎知識⑧ 備品について part.1			
第9回/Class 9	食材・飲料等の基礎知識⑨ 備品について part.2			
第10回/Class 10	レストランサービス① 各種のサービス方法			
第11回/Class 11	レストランサービス② お客様を迎える			
第12回/Class 12	試験対策①			
第13回/Class 13	試験対策②			
第14回/Class 14	後期試験			
第15回/Class 15	後期試験 フィードバック			
第16回/Class 16	1年次の総復習①			
第17回/Class 17	1年次の総復習②			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 西洋料理 料飲接客サービス技法 第3版				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	キャリアデザイン I		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	後期	配当年次	1 年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数 Number of Classes	17 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
実務において生かせる行動特性を意識できるよう指導する				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description				
自己分析を経験させる。また企業分析の知識を理解することで2年次の就職活動への動機付けとする。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
自分のキャリアを主体的に考えられる力を身につける。企業分析の方法を知り実践できる。 日本企業の仕組みや採用活動の概要を理解し、日本での就労に向けた就職活動を行う力を養う。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	オリエンテーション			
第2週/Week 2	自己分析 「なぜ日本に留学したのか」			
第3週/Week 3	自己分析 過去・現在・未来の自分について			
第4週/Week 4	自己分析 長所・短所			
第5週/Week 5	自己分析 自己 PR①			
第6週/Week 6	自己分析 自己 PR②			
第7週/Week 7	自己分析 自己 PR③			
第8週/Week 8	履歴書作成①			
第9週/Week 9	履歴書作成②			
第10週/Week 10	送付状作成、郵送の際のマナーについて			
第11週/Week 11	業界・業種・職種と就労ビザについて			
第12週/Week 12	日本企業の特徴 勤務の条件について			
第13週/Week 13	日本企業の特徴 雇用形態			
第14週/Week 14	これまでのまとめ			
第15週/Week 15	後期テスト実施			
第16週/Week 16	テスト返却と解説			
第17週/Week 17	後期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
補助教材『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』 適宜、プリントや PPT ハンドアウトを配布				
成績評価 / Evaluation				
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	インターンシップ		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	前期	配当年次	1 年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	実習	単位区分	必修	
授業回数 Number of Classes	5 回/ 1 人	授業時間 Class Hours	1 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 実際のホテルでフロント、宴会、レストラン、ハウスキーピング等の実施をする。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description インターンシップ覚書締結のホテル各社にグループ毎に、週 1 回ペースで実習に行き、期末にホテルからの評価を頂く。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 実習を通したホテル業務の習得				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	①インターンシップ締結先ホテルとの協議により、スケジュールを決定し、これに基づいて実習を実施する。 ②インターンシップを実施する。 ③期末にホテル様から評価票を受領する。 ④インターンシップ後、毎回生徒より報告書を提出。 ⑤出席率の他、③と④を合わせて成績の評価を行う。			
第 2 週/ Week 2				
第 3 週/ Week 3				
第 4 週/ Week 4				
第 5 週/ Week 5				
第 6 週/ Week 6				
第 7 週/ Week 7				
第 8 週/ Week 8				
第 9 週/ Week 9				
第 10 週/ Week 10				
第 11 週/ Week 11				
第 12 週/ Week 12				
第 13 週/ Week 13				
第 14 週/ Week 14				
第 15 週/ Week 15				
第 16 週/ Week 16				
第 17 週/ Week 17				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material なし				
成績評価 / Evaluation ホテル様からの評価票をベースに総合的に A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		インターンシップ		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	後期	配当年次	1 年	実務経験 ( )	
授業形態	実習	単位区分	必修	実務経歴 / Work Experience	
授業回数 Number of Classes	5 回/ 1 人	授業時間 Class Hours	1 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 実際のホテルでフロント、宴会、レストラン、ハウスキーピング等の実施をする。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description インターンシップ覚書締結のホテル各社にグループ毎に、週 1 回ペースで実習に行き、期末にホテルからの評価を頂く。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 実習を通したホテル業務の習得					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	①インターンシップ締結先ホテルとの協議により、スケジュールを決定し、これに基づいて実習を実施する。 ②インターンシップを実施する。 ③期末にホテル様から評価票を受領する。 ④インターンシップ後、毎回生徒より報告書を提出。 ⑤出席率の他、③と④を合わせて成績の評価を行う。				
第 2 週/ Week 2					
第 3 週/ Week 3					
第 4 週/ Week 4					
第 5 週/ Week 5					
第 6 週/ Week 6					
第 7 週/ Week 7					
第 8 週/ Week 8					
第 9 週/ Week 9					
第 10 週/ Week 10					
第 11 週/ Week 11					
第 12 週/ Week 12					
第 13 週/ Week 13					
第 14 週/ Week 14					
第 15 週/ Week 15					
第 16 週/ Week 16					
第 17 週/ Week 17					
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material なし					
成績評価 / Evaluation ホテル様からの評価票をベースに総合的に A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	PC ビジネス文書作成		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	前期	配当年次	1 年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	演習	単位区分	必修	企業内実務経歴
授業回数	17 回	授業時間	3 単位時間	
実務経歴に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 1 人 1 台のパソコンを使用し、教科書を用いて、ビジネス文書の作成、Microsoft Word の機能を理解する。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 日本語でのタイピング技能を身につけ、日本社会で使われるビジネス文書の意味を理解したうえで Word を使用しビジネスに必要な文書を作成できる能力を養う。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	第 1 章 さあ、はじめよう Word2021 Step1~4			
第 3 週/ Week 3	文字の入力①			
第 4 週/ Week 4	文字の入力②			
第 5 週/ Week 5	第 2 章 文書の作成しよう Word2021 Step1~3			
第 6 週/ Week 6	第 2 章 文書の作成しよう Word2021 Step4・5			
第 7 週/ Week 7	第 2 章 文書の作成しよう Word2021 Step6・7			
第 8 週/ Week 8	第 2 章 文書の作成しよう Word2021 Step8・練習問題			
第 9 週/ Week 9	第 4 章 表のある文書を作成しよう Step1・2			
第 10 週/ Week 10	第 4 章 表のある文書を作成しよう Step3・4			
第 11 週/ Week 11	第 4 章 表のある文書を作成しよう Step5			
第 12 週/ Week 12	第 4 章 表のある文書を作成しよう 練習問題			
第 13 週/ Week 13	総合問題①			
第 14 週/ Week 14	総合問題②			
第 15 週/ Week 15	前期試験対策			
第 16 週/ Week 16	前期試験実施			
第 17 週/ Week 17	試験返却・振り返り・まとめ			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material FOM 出版 よくわかる MicrosoftWord2021&Excel2021&PowerPoint2021 タイピング等のツール				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title	PC 表計算		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	後期	配当年次	1 年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	演習	単位区分	必修	企業内実務経歴
授業回数	17 回	授業時間	3 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 1 人 1 台のパソコン。教科書を用いて、表やグラフを作成し、Microsoft Word の機能を理解する。				
授業目的・到達目標 / Course Objective Excel を活用し、ホテル業務に支障がない様に Excel の基礎レベルを習得する。 12 月実施の日本情報処理検定協会の表計算 3 級取得を目指す。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/Week 1	第 5 章 さあ、はじめよう Excel2021 Step1~3			
第 2 週/Week 2	第 6 章 データを入力しよう Excel2021 Step1~3			
第 3 週/Week 3	第 6 章 データを入力しよう Excel2021 Step4・練習問題			
第 4 週/Week 4	第 7 章 表を作成しよう Excel2021 Step1~3			
第 5 週/Week 5	第 7 章 表を作成しよう Excel2021 Step4・5			
第 6 週/Week 6	パソコン検定対策①			
第 7 週/Week 7	パソコン検定対策②			
第 8 週/Week 8	パソコン検定対策③			
第 9 週/Week 9	パソコン検定対策④			
第 10 週/Week 10	パソコン検定対策⑤			
第 11 週/Week 11	パソコン検定実施			
第 12 週/Week 12	第 7 章 表を作成しよう Excel2021 Step6・練習問題			
第 13 週/Week 13	第 8 章 グラフを作成しよう 第 9 章 データを分析しよう Excel2021 練習問題			
第 14 週/Week 14	総合問題①			
第 15 週/Week 15	後期試験対策			
第 16 週/Week 16	後期試験実施			
第 17 週/Week 17	試験返却・振り返り・まとめ			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material FOM 出版 よくわかる MicrosoftWord2021&Excel2021&PowerPoint2021 日本情報処理検定 表計算 問題集及び過去問題				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				



授業科目 Course Title	日本語能力試験対策 I (語彙)		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	前期	配当年次	1 年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	選択	
授業回数	17 回	授業時間	1 時間単位	
実務経験に基づいた授業内容・方法 テキストをメインに使用し、最終的にN2レベルの能力試験問題に対応できるようにする。				
<b>授業概要 (学修内容・方法) / Course Description</b> 一回の授業でテキスト1課分を進めて、語彙の中でピックアップし導入をして、例文や使い方や注意点の確認後ドリルをする。授業の最初に前回分の復習を適宜入れていく。				
<b>授業目的・到達目標 / Course Objective</b> 2年間でN2合格を目指すのが1年生前期は基礎であるN3レベルを固める。				
<b>回数 / 週</b>	<b>授業計画 / Course Schedule</b>			
第1回/ Class 1	ウォーミングアップ (復習ドリル) 第1回、1. 時間			
第2回/ Class 2	ウォーミングアップ (復習ドリル) 第2回、2. 家			
第3回/ Class 3	ウォーミングアップ (復習ドリル) 第3回、3. お金			
第4回/ Class 4	ウォーミングアップ (復習ドリル) 第4回、4. 数・量			
第5回/ Class 5	ウォーミングアップ (復習ドリル) 第5回、5. 国・社会			
第6回/ Class 6	6. 産業・技術			
第7回/ Class 7	7. 自然			
第8回/ Class 8	8. 体・健康			
第9回/ Class 9	第1回実践練習			
第10回/ Class 10	9. 交通			
第11回/ Class 11	10. 位置・方向			
第12回/ Class 12	11. 趣味・活動			
第13回/ Class 13	12. 学校・学問			
第14回/ Class 14	1~6 復習			
第15回/ Class 15	7~12 復習			
第16回/ Class 16	前期試験			
第17回/ Class 17	試験FB			
<b>使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material</b> ・日本語能力試験問題集N2語彙スピードマスター				
<b>成績評価 / Evaluation</b> 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
<b>備考 / Memo</b>				



## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	日本語能力試験対策 II (語彙)		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	後期	配当年次	1 年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	選択	
授業回数	17 回	授業時間	1 時間単位	
実務経験に基づいた授業内容・方法 テキストをメインに使用し、最終的にN2レベルの能力試験問題に対応できるようにする。				
<b>授業概要 (学修内容・方法) / Course Description</b> 一回の授業でテキスト1課分を進めて、語彙の中でピックアップし導入をして、例文や使い方や注意点の確認後ドリルをする。授業の最初に前回分の復習を適宜入れていく。				
<b>授業目的・到達目標 / Course Objective</b> 2年間でN2合格を目指す。1年生後期はN3レベルを固め、N2に移行していく。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/ Class 1	13. 仕事①			
第2回/ Class 2	14. 仕事②			
第3回/ Class 3	15. 能力・評価			
第4回/ Class 4	16. パソコン・プリンターなど			
第5回/ Class 5	第2回実践練習2			
第6回/ Class 6	17. 表・グラフ			
第7回/ Class 7	18. どんな気持ち?			
第8回/ Class 8	19. 人と人			
第9回/ Class 9	20. 言葉のいろいろな形			
第10回/ Class 10	21. 意味が似ている言葉①			
第11回/ Class 11	22. 意味が似ている言葉②			
第12回/ Class 12	23. 反対の意味の言葉など			
第13回/ Class 13	24. 音が同じ言葉			
第14回/ Class 14	13～18 復習			
第15回/ Class 15	19～24 復習、第3回実践練習			
第16回/ Class 16	後期試験			
第17回/ Class 17	試験FB			
<b>使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material</b> ・日本語能力試験問題集N2 語彙スピードマスター				
<b>成績評価 / Evaluation</b> 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title		日本語能力試験対策 I (文法)		担当教員	実務経験 ( )
開講時期 Term		前期	配当年次	Instructor	
授業形態	講義	単位区分	1 年	選択	実務経歴
授業回数	1 7 回	授業時間	1 時間単位		
実務経験に基づいた授業内容・方法 テキストをメインに使用し、最終的にN2レベルの能力試験問題に対応できるようにする。					
<b>授業概要 (学修内容・方法) / Course Description</b> テキストの文法事項の導入をし、例文や接続や注意点を確認後、問題をする。その後、課ごとのまとめの問題をする。授業の最初に前回の復習を適宜入れていく。					
<b>授業目的・到達目標 / Course Objective</b> 2年間でN2合格を目指す。1年生前期はN2レベルに問題に慣れる。					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第1回/ Class 1	1 スタッフ募集のお知らせ 1～4				
第2回/ Class 2	1 スタッフ募集のお知らせ 5～8				
第3回/ Class 3	1 スタッフ募集のお知らせ まとめ問題 2 転任挨拶 (1) 9～11				
第4回/ Class 4	2 転任挨拶 (1) 12～15				
第5回/ Class 5	2 転任挨拶 (2) 16～19				
第6回/ Class 6	2 転任挨拶 (2) 20～21 まとめ問題				
第7回/ Class 7	3 ホテルの仕事 22～24				
第8回/ Class 8	3 ホテルの仕事 25～27				
第9回/ Class 9	3 ホテルの仕事 28～29 まとめ問題				
第10回/ Class 10	4 台風情報 30～33				
第11回/ Class 11	4 台風情報 34～36 まとめ問題				
第12回/ Class 12	5 就職活動 (1) 37～40				
第13回/ Class 13	5 就職活動 (1) 41～42 5 就職活動 (2) 43～44				
第14回/ Class 14	5 就職活動 (2) 45～47 まとめ問題				
第15回/ Class 15	1～5 総復習				
第16回/ Class 16	前期試験				
第17回/ Class 17	試験FB等				
<b>使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material</b> ・TRY! 日本語能力試験N2					
<b>成績評価 / Evaluation</b> 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	日本語能力試験対策 II (文法)		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	後期	配当年次	1 年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	選択	
授業回数	17 回	授業時間	1 時間単位	
実務経験に基づいた授業内容・方法 テキストをメインに使用し、最終的にN2レベルの能力試験問題に対応できるようにする。				
<b>授業概要 (学修内容・方法) / Course Description</b> テキストの文法事項の導入をし、例文や接続や注意点を確認後、問題をする。その後、課ごとのまとめの問題をする。授業の最初に前回の復習を適宜入れていく。テキスト終了後は、実践問題をこなしていく。				
<b>授業目的・到達目標 / Course Objective</b> 2年間でN2合格を目指す。1年生後期はN2レベルの問題にある程度対応できるようにする。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/ Class 1	6 苦労した5年間 (1) 48～50			
第2回/ Class 2	6 苦労した5年間 (1) 51～52		6 苦労した5年間 (2) 53～54	
第3回/ Class 3	6 苦労した5年間 (2) 55～57			
第4回/ Class 4	6 苦労した5年間 (2) 58～59		まとめ問題	
第5回/ Class 5	7 オオカミと生態系 (1) 60～62			
第6回/ Class 6	7 オオカミと生態系 (1) 63～65			
第7回/ Class 7	7 オオカミと生態系 (2) 66～69			
第8回/ Class 8	7 オオカミと生態系 (2) 70～72			
第9回/ Class 9	7 オオカミと生態系 まとめ問題			
第10回/ Class 10	8 取引先で 73～75			
第11回/ Class 11	8 取引先で 76～77 まとめ問題			
第12回/ Class 12	9 食べ放題 (1) 78～81			
第13回/ Class 13	9 食べ放題 (1) 82～84			
第14回/ Class 14	6～9 総復習			
第15回/ Class 15	後期試験			
第16回/ Class 16	試験FB等			
第17回/ Class 17	9 食べ放題 (2) 85～88			
<b>使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material</b> ・TRY! 日本語能力試験N2				
<b>成績評価 / Evaluation</b> 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	総合英語 I		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	前期	配当年次	1 年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	選択	
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法				
<b>授業概要 (学修内容・方法) / Course Description</b> ホテルで求められる英語スキルエビデンスとしての TOEIC 対策に力点を置いた内容				
<b>授業目的・到達目標 / Course Objective</b> TOEIC 試験でのハイスコア取得				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 回/ Class 1	英語スキル確認テスト			
第 2 回/ Class 2	英語スキル確認テストフィードバック			
第 3 回/ Class 3	TOEIC でハイスコアを獲得するためのポイント、TOEIC 試験内容の理解			
第 4 回/ Class 4	テーマ 1 : 写真描写問題①			
第 5 回/ Class 5	テーマ 1 : 写真描写問題②			
第 6 回/ Class 6	テーマ 2 : スコアアップの生命線①			
第 7 回/ Class 7	テーマ 2 : スコアアップの生命線②			
第 8 回/ Class 8	テーマ 3 : 1 分弱スピーチ①			
第 9 回/ Class 9	テーマ 3 : 1 分弱スピーチ②			
第 10 回/ Class 10	テーマ 4 : 品詞と文法が大事①			
第 11 回/ Class 11	テーマ 4 : 品詞と文法が大事②			
第 12 回/ Class 12	テーマ 5 : 難問とのけんかをやめて①			
第 13 回/ Class 13	テーマ 5 : 難問とのけんかをやめて②			
第 14 回/ Class 14	テーマ 6 : リーディング最大の「山脈」①			
第 15 回/ Class 15	テーマ 6 : リーディング最大の「山脈」②			
第 16 回/ Class 16	前期試験			
第 17 回/ Class 17	前期試験フィードバック			
<b>使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material</b> 最適な TOEIC 対策書籍を選定し、それを利用する。 「ゼロからの TOEIC® L&R テスト 600 点 全パート講義」「TOEIC L&R テスト 至高の模試 600 問」等				
<b>成績評価 / Evaluation</b> 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		総合英語Ⅱ		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	後期	配当年次	1 年	実務経歴	
授業形態	講義	単位区分	選択		
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法					
<b>授業概要 (学修内容・方法) / Course Description</b> ホテルで求められる英語スキルエビデンスとしての TOEIC 対策に力点を置いた内容					
<b>授業目的・到達目標 / Course Objective</b> TOEIC 試験でのハイスコア取得					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 回/ Class 1	模擬問題①				
第 2 回/ Class 2	模擬問題①フィードバック				
第 3 回/ Class 3	模擬問題②				
第 4 回/ Class 4	模擬問題②フィードバック				
第 5 回/ Class 5	模擬問題③				
第 6 回/ Class 6	模擬問題③フィードバック				
第 7 回/ Class 7	過去問題①				
第 8 回/ Class 8	過去問題①フィードバック				
第 9 回/ Class 9	過去問題②				
第 10 回/ Class 10	過去問題②フィードバック				
第 11 回/ Class 11	過去問題③				
第 12 回/ Class 12	過去問題③フィードバック				
第 13 回/ Class 13	過去問題④				
第 14 回/ Class 14	過去問題④フィードバック				
第 15 回/ Class 15	試験対策テクニック				
第 16 回/ Class 16	後期試験				
第 17 回/ Class 17	後期試験フィードバック				
<b>使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material</b> 最適な TOEIC 対策書籍を選定し、それを利用する。 「ゼロからの TOEIC® L&R テスト 600 点 全パート講義」「TOEIC L&R テスト 至高の模試 600 問」等					
<b>成績評価 / Evaluation</b> 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

授業科目 Course Title		宴会概論&実務 I		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	前期	配当年次	1年	実務経歴 ホテル料飲部門にて30年間勤務。 ■KKR ホテル博多 料飲サービス課支配人 ■全国宴会支配人協議会 九州 B. M. C. 会長	
授業形態	演習	単位区分	必修		
授業回数	20回	授業時間	2単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 宴会部門における会議・パーティー・婚礼の運営などの知識および実務経験を活かして進める。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 宴会部門の組織体系、会議、パーティー、婚礼の運営・関連知識の講義および実習授業					
授業目的・到達目標 / Course Objective 宴会業務の実務に関する知識および日本語 (業界用語・接客用語など) と実技の習得を目標とする。					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第1回/ Class 1	自己紹介・概要説明				
第2回/ Class 2	【座学】宴会の種類及び内容【実技】トレイ、皿の持ち方 (料理・グラスの運搬)				
第3回/ Class 3	【座学】宴会の準備【実技】料理の運搬、バッシングの仕方				
第4回/ Class 4	【座学】各種宴会等のセッティング【実技】ナフキンの折り方、クロスの張り方				
第5回/ Class 5	【座学】宴会の運営とサービス【実技】テーブルセッティング (カトラリー、グラス)				
第6回/ Class 6	【実技】宴会の準備 (クロス張、ナフキン折り、テーブルセッティング)				
第7回/ Class 7	【座学】飲料の種類及び特徴 ワイン編 I				
第8回/ Class 8	【座学】飲料の種類及び特徴 ワイン編 II				
第9回/ Class 9	【実技】ワインボトルサービス・ドリンクトレーサービス				
第10回/ Class 10	【座学】飲料の種類及び特徴 ビール・スピリッツ編 (ブランデー、ウイスキー、ジン、ウォッカ、ラム、テキーラ)				
第11回/ Class 11	【座学】飲料の種類及び特徴 リキュール・日本酒・焼酎編				
第12回/ Class 12	【座学】飲料の種類及び特徴 コーヒー・紅茶・ミネラルウォーター編				
第13回/ Class 13	【実技】宴会の準備 <復習> (クロス張、ナフキン折り、テーブルセッティング)				
第14回/ Class 14	【実技】復習: ワインボトルサービス・ドリンクトレーサービス				
第15回/ Class 15	前期試験対策 (筆記)				
第16回/ Class 16	前期試験対策 (筆記&実技)				
第17回/ Class 17	前期試験対策 (実技)				
第18回/ Class 18	前期試験				
第19回/ Class 19	前期試験 フィードバック				
第20回/ Class 20	前期の振り返り (まとめ)・後期授業についての説明				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 西洋料理 料飲接客サービス技法					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・平常点 (授業態度) 30%の100点で計算。 A (100~90点)・B (89~80点)・C (79~70点)・D (69~60点)・F (59点以下 *追試)					
備考 / Memo					

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		宴会概論&実務Ⅱ		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	後期	配当年次	1年	実務経歴 ホテル料飲部門にて30年間勤務。 ■KKR ホテル博多 料飲サービス課支配人 ■全国宴会支配人協議会 九州 B. M. C. 会長	
授業形態	演習	単位区分	必修		
授業回数	19回	授業時間	2単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 宴会部門においての会議・パーティー・婚礼の運営などの知識および実務経験を活かして進める。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 宴会部門の組織体系、会議、パーティー、婚礼の運営・関連知識の講義および実習授業					
授業目的・到達目標 / Course Objective 宴会業務の実務に関する知識および日本語 (業界用語・接客用語など) と実技の習得を目標とする。					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第1回/ Class 1	【座学】日本の暦と年間行事について【実技】復習: トレイ、皿の持ち方 (料理・グラスの運搬)				
第2回/ Class 2	【座学】日本の慶事 (冠婚葬祭)【実技】復習: 料理の運搬、バッシングの仕方				
第3回/ Class 3	【座学】日本の結納および結婚式について【実技】復習: ナフキンの折り方、クロスの張り方				
第4回/ Class 4	【座学】日本の結婚披露宴について【実技】復習: テーブルセッティング (カトラリー、グラス)				
第5回/ Class 5	【実技】実技全般復習				
第6回/ Class 6	【実技】実技ミニテスト				
第7回/ Class 7	【座学】お葬式・法事について【実技】復習: (クロス張、ナフキン折り、テーブルセッティング)				
第8回/ Class 8	【実技】宴会を想定してのサービス実技 I				
第9回/ Class 9	【実技】宴会を想定してのサービス実技 II				
第10回/ Class 10	【座学】苦情対応と遺失物の取り扱い				
第11回/ Class 11	【座学】食品衛生および公衆・安全衛生				
第12回/ Class 12	【実技】宴会を想定してのサービス実技 II				
第13回/ Class 13	後期復習				
第14回/ Class 14	後期試験対策 (筆記)				
第15回/ Class 15	後期試験対策 (筆記&実技)				
第16回/ Class 16	後期試験対策 (実技)				
第17回/ Class 17	後期試験				
第18回/ Class 18	後期試験 フィードバック				
第19回/ Class 19	1年の復習				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 西洋料理 料飲接客サービス技法					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・平常点 (授業態度) 30%の100点で計算。 A (100~90点)・B (89~80点)・C (79~70点)・D (69~60点)・F (59点以下 *追試)					
備考 / Memo					



授業科目 Course Title	おもてなし概論 I		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	前期	配当年次	1年	直近は、ホテル日航福岡の宴会業務を中心に就業実績あり
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法：ホテルスタッフそして社会人として必要なビジネスマナーの習得を目指す。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 日本のホテル・旅館の就職を目指す学生たちへ「日本のおもてなし」の基礎の習得。就職向け面接マナーの習得。				
授業目的・到達目標 / Course Objective サービス接客検定3級の取得。ホテル・旅館等の観光産業への就職へ向けての、サービス接客の習得。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/ Class 1	自己紹介 / 授業の目的と目標 / 身だしなみ / 挨拶 / お辞儀の方法			
第2回/ Class 2	身だしなみ / 挨拶 / 返事			
第3回/ Class 3	サービススタッフの資質（必要とされる要件①②③）	テキスト P14～P29		
第4回/ Class 4	サービススタッフの資質（従業要件①②③④）	テキスト P30～P47		
第5回/ Class 5	専門知識（サービス知識①②③）	テキスト P50～P64		
第6回/ Class 6	専門知識（従業知識）	テキスト P65～P69		
第7回/ Class 7	一般知識（社会常識①）	テキスト P72～P76		
第8回/ Class 8	一般知識（社会常識②）	テキスト P77～P80		
第9回/ Class 9	対人技能（人間関係・接客知識）	テキスト P82～P101		
第10回/ Class 10	対人技能（話し方・服装）	テキスト P102～P120		
第11回/ Class 11	実務技能（問題処理・環境設備・金品管理・社交業務）① テキスト P122～P144			
第12回/ Class 12	実務技能（問題処理・環境設備・金品管理・社交業務）②			
第13回/ Class 13	前期試験対策			
第14回/ Class 14	前期試験対策(記述)			
第15回/ Class 15	前期試験			
第16回/ Class 16	前期試験振り返り及び検定対策			
第17回/ Class 17	前期試験振り返り及び検定対策(記述)			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 「サービス接客検定 3級公式テキスト」「サービス接客検定実問題集 3級」				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	おもてなし概論Ⅱ		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	後期	配当年次	1年	実務経歴 直近は、ホテル日航福岡の宴会業務 を中心に就業実績あり
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 : ホテルスタッフそして社会人として必要なビジネスマナーの習得を目指す。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 日本のホテル・旅館の就職を目指す学生たちへ「日本のおもてなし」の基礎の習得。就職向け面接マナーの習得。				
授業目的・到達目標 / Course Objective サービス接客検定3級の取得、ホテル・旅館等の就職へ向けての、サービス接客習得と即戦力としての知識取得。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/ Class 1	検定対策授業①			
第2回/ Class 2	検定対策授業②			
第3回/ Class 3	検定対策授業③			
第4回/ Class 4	検定対策授業④ (11/7 サービス接客検定)			
第5回/ Class 5	サービス接客検定の振り返り			
第6回/ Class 6	社会人としての身だしなみ (ジョブパス P38~P43)			
第7回/ Class 7	ビジネスの場に相応しい言葉遣い (ジョブパス P56~P61)			
第8回/ Class 8	面談の基本マナー・電話対応の重要性 (ジョブパス P68~P69、P114~P121)			
第9回/ Class 9	後期試験対策及びビジネス用語の基本① (ジョブパス P144~P153)			
第10回/ Class 10	ビジネス用語の基本② (ジョブパス P144~P153)			
第11回/ Class 11	ビジネス用語の基本③			
第12回/ Class 12	ビジネス用語 尊敬語・謙譲語の使い方			
第13回/ Class 13	後期試験対策			
第14回/ Class 14	後期試験対策(記述)			
第15回/ Class 15	後期試験			
第16回/ Class 16	後期試験振り返り			
第17回/ Class 17	1年間の振り返りと2年次の目標・課題の発表			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 「サービス接客検定 3級公式テキスト」「サービス接客検定 実問題集 3級」「ジョブパス 3級公式テキスト」 「ジョブパス 3級公式試験問題集」				
備考 / Memo				

## 2024年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ホテル概論&総合実務 I		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	前期	配当年次	1年	実務経歴 ホテル日航福岡・ホテルマリノアリゾート等でのホテル業務。
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 ホテル経営・運営、関連法規、調理関連の実務経験を活かした講義・実習授業。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description ホテル経営・運営、関連法規、調理関連の経営・運営方法・関連知識の講義及び実習授業				
授業目的・到達目標 / Course Objective 一般社団法人日本ホテル教育センター認定のホテル・ビジネス実務検定 (H 検定) 2級の合格を目標とする。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/ Class 1	H 検定対策 ホテル基礎 観光産業の概要			
第2回/ Class 2	H 検定対策 ホテル基礎 ホテル産業の概要			
第3回/ Class 3	H 検定対策 ホテル基礎 ホテルの定義			
第4回/ Class 4	H 検定対策 ホテル基礎 実務者として必要な基本知識			
第5回/ Class 5	H 検定対策 ホテル基礎 ホスピタリティーについて			
第6回/ Class 6	H 検定対策 ホテル基礎 関連知識			
第7回/ Class 7	H 検定対策 宿泊部門 宿泊部門の概要			
第8回/ Class 8	H 検定対策 宿泊部門 宿泊商品の特性			
第9回/ Class 9	H 検定対策 宿泊部門 組織と業務役割			
第10回/ Class 10	H 検定対策 宿泊部門 宿泊部門の実務			
第11回/ Class 11	H 検定対策 宿泊部門 主な担当者の業務			
第12回/ Class 12	H 検定対策 調理部門 調理部門の概要			
第13回/ Class 13	H 検定対策 調理部門 調理部門の特性			
第14回/ Class 14	H 検定対策 調理部門 組織と業務役割			
第15回/ Class 15	前期末試験対策			
第16回/ Class 16	前期末試験			
第17回/ Class 17	前期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ホテルビジネス 基礎編 (一般社団法人 日本ホテル教育センター) ホテルビジネス練習過去問題集				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ホテル概論&総合実務Ⅱ		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	後期	配当年次	1年	実務経歴 ホテル日航福岡・ホテルマリノアリ ゾート等でのホテル業務。
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 ホテル経営・運営、関連法規、調理関連の実務経験を活かした講義・実習授業。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description ホテル経営・運営、関連法規、調理関連の経営・運営方法・関連知識の講義及び実習授業				
授業目的・到達目標 / Course Objective 一般社団法人日本ホテル教育センター認定のホテル・ビジネス検定 (H検定) 2級の合格を目標とする。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/Class 1	H検定対策 ホテル基礎 世界の観光産業			
第2回/Class 2	H検定対策 ホテル基礎 日本の観光産業			
第3回/Class 3	H検定対策 ホテル基礎 日本の宿泊産業			
第4回/Class 4	H検定対策 ホテル基礎 ホテル産業の分類			
第5回/Class 5	H検定対策 ホテル基礎 グルーミングについて			
第6回/Class 6	H検定対策 ホテル基礎 接客用語の基礎			
第7回/Class 7	H検定対策 宿泊部門 制約要件からくる特性			
第8回/Class 8	H検定対策 宿泊部門 役職者呼称			
第9回/Class 9	H検定対策 宿泊部門 宿泊約款と利用規則の知識			
第10回/Class 10	H検定対策 宿泊部門 施設・設備の知識			
第11回/Class 11	H検定対策 宿泊部門 宿泊商品の基礎知識			
第12回/Class 12	H検定対策 調理部門 制約要件からくる特性			
第13回/Class 13	H検定対策 調理部門 役職者・担当者呼称			
第14回/Class 14	後期末試験対策			
第15回/Class 15	後期末試験			
第16回/Class 16	後期末試験フィードバック			
第17回/Class 17	終業 (1年) に際して1年間の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ホテル・ビジネス 基礎編 (一般社団法人 日本ホテル教育センター) ホテルビジネス練習過去問題集 700選				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		宿泊概論 I		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	前期	配当年次	1年	実務経歴 ホテル業界 40 年以上勤務、内、私鉄系、航空系、外資系等、5 ホテルの開業を経験し、2014 年よりホテル旅館開業運営支援事業の(株) HAMA ソリューションズ設立、現在に至る	
授業形態	講義	単位区分	必修		
授業回数	17回	授業時間	2単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 ホテル業の基盤である宿泊部門の基礎を教科書、パワーポイント、プリント問題を用い講義する					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description ホテルビジネスの基本につき、宿泊に関わる組織の業務内容を具体的に教科書や画像などで教示し、業界専門用語等は適時繰り返しの練習問題で知識を高める。又、日本語記述や会話力を高める為、アクティブラーニングを実践する。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 一年次において、ホテル業の核になる宿泊部門全般の基礎知識を習得し、宿泊業のどのようなカテゴリーでも通用するレベルを目指す。					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 回/ Class 1	自己紹介・授業目的と目標 ホテル業の概要				
第 2 回/ Class 2	ホテルの経営形態・運営組織・カテゴリー等の説明				
第 3 回/ Class 3	ホスピタリティマインド 宿泊部門組織全般 ラグジュアリーホテルとバジェットホテルの違い				
第 4 回/ Class 4	2022 年以後のホテル業界 宿泊部門全般 ホテルと旅館の違い				
第 5 回/ Class 5	宿泊部門 フロントサービス業務 宿泊部門と料飲部門の違い				
第 6 回/ Class 6	宿泊部門 専門用語				
第 7 回/ Class 7	フロントサービス&専門用語 練習問題				
第 8 回/ Class 8	宿泊部門 ハウスキーピング業務				
第 9 回/ Class 9	宿泊部門 専門用語 練習問題				
第 10 回/ Class 10	宿泊部門 フロントオフィス業務				
第 11 回/ Class 11	宿泊予約業務 予約経路 デジタルマーケティング				
第 12 回/ Class 12	宿泊 フロントオフィス 宿泊予約 部門専門用語 PMS				
第 13 回/ Class 13	宿泊予約の重要性 客室料金はどうして決まる 客室料金計算 PMS				
第 14 回/ Class 14	宿泊商品造成 宿泊料金と OTA 対策				
第 15 回/ Class 15	宿泊商品リサーチ MICE 戦略と旅行会社との関係性				
第 16 回/ Class 16	宿泊 (客室) 原価 部門比較				
第 17 回/ Class 17	職業としてのホテリア リクルート対策				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 宿泊業務の基礎 一般社団法人 日本ホテル教育センター					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo 前期は教科書を素材にした授業。後期は PPT 及びプリントによる練習問題を中心に授業実施する 又、宿泊分析数値問題等で、分析力を高める授業を中心に展開する。					

## 2024年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		宿泊概論Ⅱ		担当教員 Instructor	実務経験（有）
開講時期 Term	後期	配当年次	1年	実務経歴 ホテル業界40年勤務、内私鉄系、航空系、 外資系等、5ホテルの開業を経験し、2014 年よりホテル旅館開業運営支援事業の（株） HAMAソリューションズ設立、現在に至る	
授業形態	講義	単位区分	必修		
授業回数	17回	授業時間	2単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 ホテル業の基盤である宿泊部門の基礎を教科書、パワーポイント、プリント問題を用い講義する					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description ホテルビジネスの基本につき、宿泊に関わる組織の業務内容を具体的に教科書や画像などで教示し、業界専門用語等は適時繰り返しの練習問題で知識を高める。又、日本語記述や会話力を高める為、アクティブラーニングを実践する。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 一年次において、ホテル業の核になる宿泊部門全般の基礎知識を習得し、宿泊業のどのようなカテゴリーでも通用するレベルを目指す。					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第1回/ Class 1	宿泊業の将来 AI時代の変化変貌		練習問題&レポート		
第2回/ Class 2	宿泊プラン商品企画 日本の観光資源				
第3回/ Class 3	他産業とホテル業の相違点 業界動向 市場比較		宿泊約款		
第4回/ Class 4	レセプション業務 チェックイン ルームアサインメント		宿泊条件変更 PMS		
第5回/ Class 5	レセプション業務 チェックアウト 会計業務		ホテル経理業務		
第6回/ Class 6	宿泊業務と購買用度		練習問題&レポート		
第7回/ Class 7	客室 FFE アメニティ その他備品				
第8回/ Class 8	宿泊部門 数値分析 ホテル旅館分析指標				
第9回/ Class 9	宿泊稼働率と経営指標との関連				
第10回/ Class 10	イールドマネジメント REV PER		ダイナミックプライジング		
第11回/ Class 11	ホテルシステム と リザーベーションシステム		PMS		練習問題&レポート
第12回/ Class 12	ネット予約 デジタルマーケティング				
第13回/ Class 13	ホテル宿泊部門 苦情クレーム処理の実態				
第14回/ Class 14	ホテル業のコンプライアンス ホテルの不祥事				
第15回/ Class 15	他業種のホテル業参入実態		練習問題&レポート		
第16回/ Class 16	ホテル業 関連法規				
第17回/ Class 17	リクルート対策 GD 面接対応		プレゼンテーション		
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 宿泊業務の基礎 一般社団法人 日本ホテル教育センター又は ホテルビジネス基礎編を代用しても構わない。					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo 前期は教科書を素材にした授業。後期はPPT及びプリントによる練習問題を中心に授業実施する 又、宿泊分析数値問題等で、分析力を高める授業を中心に展開する。					



## 2024年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		観光概論 I		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	前期	配当年次	1 年	実務経歴 添乗実務 30 年	
授業形態	講義	単位区分	必修		
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 添乗実務の講義と試験対策					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 添乗サービス協会の教本による講義					
授業目的・到達目標 / Course Objective 観光業に関わる業務全般知識の習得 (国内旅程管理主任者資格をベースとする)					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 回/ Class 1	添乗という職業				
第 2 回/ Class 2	添乗サービスの基本				
第 3 回/ Class 3	添乗員の仕事の役割と仕組み				
第 4 回/ Class 4	ツアー開始前 準備				
第 5 回/ Class 5	打合せ業務				
第 6 回/ Class 6	確認業務				
第 7 回/ Class 7	座席割と部屋割り				
第 8 回/ Class 8	バス利用の添乗・準備・受付け				
第 9 回/ Class 9	バス出発・休憩				
第 10 回/ Class 10	観光・見学				
第 11 回/ Class 11	昼食時の業務				
第 12 回/ Class 12	ショッピング/自由行動/オプションについて				
第 13 回/ Class 13	宿泊の実務				
第 14 回/ Class 14	朝の出発業務				
第 15 回/ Class 15	ツアー終了・終了報告				
第 16 回/ Class 16	航空機利用の添乗/受付準備				
第 17 回/ Class 17	搭乗手続き → つづきは後期				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 日本添乗サービス協会 旅程管理教本/添乗員の旅行業法・約款					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					



## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		観光概論Ⅱ		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	後期	配当年次	1 年	実務経歴 添乗実務 30 年	
授業形態	講義	単位区分	必修		
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 添乗実務の講義と試験対策					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description  添乗サービス協会の教本による講義					
授業目的・到達目標 / Course Objective 観光業に関わる業務全般知識の習得 (国内旅程管理主任者資格をベースとする)					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 回/ Class 1	搭乗手続き・シートアサイン				
第 2 回/ Class 2	受付・誘導				
第 3 回/ Class 3	ファイナル報告・再集合・誘導				
第 4 回/ Class 4	搭乗・機内・到着誘導・バス乗車				
第 5 回/ Class 5	JR 利用の添乗・受付準備				
第 6 回/ Class 6	受付・団体乗車券の取扱い				
第 7 回/ Class 7	乗車・列車内・到着・バス誘導				
第 8 回/ Class 8	旅行業法・約款				
第 9 回/ Class 9	旅行業法・約款				
第 10 回/ Class 10	旅行業法・約款				
第 11 回/ Class 11	旅行業法・約款				
第 12 回/ Class 12	旅行業法・約款				
第 13 回/ Class 13	旅行業法・約款				
第 14 回/ Class 14	旅行業法・約款				
第 15 回/ Class 15	模擬試験				
第 16 回/ Class 16	模擬試験				
第 17 回/ Class 17	本試験				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 日本添乗サービス協会 旅程管理教本/添乗員の旅行業法・約款					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

## 2024年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ホテル英会話 I		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	前期	配当年次	1年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 リスニング、リーディング、ライティング、ロールプレイ、文法の練習。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description ホテルや外食産業の文脈で話すスキルと聞くスキルを開発するための簡単なアプローチです。				
授業目的・到達目標 / Course Objective このコースでは予約から苦情への対応まで、さまざまな状況で顧客や同僚に対応するためのシンプルで機能的な言語を学生に提供します。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/ Class 1	Introduction 自己紹介 / Alphabet / verb to be (アルファベット / be 動詞)			
第2回/ Class 2	Introduction 自己紹介 / Alphabet / verb to be (アルファベット / be 動詞)			
第3回/ Class 3	The check-in チェックイン / Day, months, dates (日、月、日付)			
第4回/ Class 4	The check-in チェックイン / Day, months, dates (日、月、日付)			
第5回/ Class 5	The hotel bedroom ホテルの寝室 / 「There is...」 「There are...」			
第6回/ Class 6	The hotel bedroom ホテルの寝室 / 「There is...」 「There are...」			
第7回/ Class 7	Bathroom and porter バスルームとポーター / (場所 を表す前置詞・色・大きさ・)			
第8回/ Class 8	Bathroom and porter バスルームとポーター / (場所 を表す前置詞・色・大きさ・)			
第9回/ Class 9	Services in the hotel ホテル内のサービス / Can 動詞 / have 動詞 / do/does (questions) (疑問文章)			
第10回/ Class 10	Services in the hotel ホテル内のサービス / Can 動詞 / have 動詞 / do/does (questions) (疑問文章)			
第11回/ Class 11	Location of facilities 屋内で道案内をする / Giving directions 道案内をする			
第12回/ Class 12	Location of facilities 屋内で道案内をする / Giving directions 道案内をする			
第13回/ Class 13	Room services ルームサービス / Past tense (過去形)			
第14回/ Class 14	Room services ルームサービス / Past tense (過去形)			
第15回/ Class 15	Problems and solutions 間違いや問題への対処 / Future tense (未来形)			
第16回/ Class 16	Problems and solutions 間違いや問題への対処 / Future tense (未来形)			
第17回/ Class 17	Semester Review / MidtermTest			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material (Be my guest: English for the Hotel Industry)ホテルビジネス教科書 + ハンドアウト				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ホテル英会話Ⅱ		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	後期	配当年次	1 年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 リスニング、リーディング、ライティング、ロールプレイ、文法の練習。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description ホテルや外食産業の文脈で話すスキルと聞くスキルを開発するための簡単なアプローチです。				
授業目的・到達目標 / Course Objective このコースでは予約から苦情への対応まで、さまざまな状況で顧客や同僚に対応するためのシンプルで機能的な言語を学生に提供します。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 回/ Class 1	TOEIC overview (TOEIC 概要)			
第 2 回/ Class 2	Taking bar orders バーで注文を受ける / (飲み物を出す・お支払い) / TOEIC practice (TOEIC の練習)			
第 3 回/ Class 3	Taking bar orders バーで注文を受ける / (飲み物を出す・お支払い) / TOEIC practice (TOEIC の練習)			
第 4 回/ Class 4	In the restaurant (1) レストランで / 料理の注文を取る / TOEIC practice (TOEIC の練習)			
第 5 回/ Class 5	In the restaurant (1) レストランで / 料理の注文を取る / TOEIC practice (TOEIC の練習)			
第 6 回/ Class 6	In the restaurant (2) レストランで / First conditional (条件文) / giving recommendations (「推薦」)			
第 7 回/ Class 7	In the restaurant (2) レストランで / First conditional (条件文) / giving recommendations (「推薦」)			
第 8 回/ Class 8	Places to visit 観光スポット / Comparatives and superlatives (比較級と最上級) / (TOEIC の練習)			
第 9 回/ Class 9	Places to visit 観光スポット / Comparatives and superlatives (比較級と最上級) / (TOEIC の練習)			
第 10 回/ Class 10	Enquires 問合せ / Correspondence (商業用の通信文) / TOEIC practice (TOEIC の練習)			
第 11 回/ Class 11	Enquires 問合せ / Correspondence (商業用の通信文) / TOEIC practice (TOEIC の練習)			
第 12 回/ Class 12	Using the phone 電話で / Telephone language (電話の会話) / TOEIC practice (TOEIC の練習)			
第 13 回/ Class 13	Using the phone 電話で / Telephone language (電話の会話) / TOEIC practice (TOEIC の練習)			
第 14 回/ Class 14	The check-out チェックアウト / Present perfect (現在完了) / TOEIC practice (TOEIC の練習)			
第 15 回/ Class 15	The check-out チェックアウト / Present perfect (現在完了) / TOEIC practice (TOEIC の練習)			
第 16 回/ Class 16	Semester review			
第 17 回/ Class 17	Final Test			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material (Be my guest: English for the Hotel Industry)ホテルビジネス教科書 + ハンドアウト				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	総合日本語 I		担当教員	実務経験 ( )
			Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次	1 年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17 回	授業時間	5 単位時間	

実務経験に基づいた授業内容・方法

テキスト+副教材を使用し、読む・聞く・書く・話すの四技能をバランスよく伸ばしていく授業をしていく。

### 授業概要 (学修内容・方法) / Course Description

当該課で必要な文法を導入後、練習。次に、新出語彙の確認し、本文精読をする。その際、内容の確認のためにハンドアウトなどを使用。その後、その当該課のトピックを使ったディスカッションや作文、意見発表等をする。新出漢字については毎時間最初に4～5個進める。課の最後に漢字・語彙・文法のまとめ問題をする。毎回ではないが、副教材の読解や聴解を適宜入れる。

### 授業目的・到達目標 / Course Objective

日常生活での出来事や社会的な話題について日本語で理解ができ、なおかつ自分の考えや意見が理由とともに説明できる、また、異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見が交換できることを目標に日本語力を四技能バランスよく伸ばすことを目指す。

回数 / 週	授業計画 / Course Schedule
第1回/ Class 1	第1課 漢字、使いましょう (文法)
第2回/ Class 2	第1課 漢字、使いましょう (文法続き) 復習、新出語彙、いっしょに考えましょう
第3回/ Class 3	第1課 漢字、本文精読 (+答えましょう)、話しましょう
第4回/ Class 4	第1課 漢字、復習 (使いましょう、語彙、漢字)
第5回/ Class 5	第2課 漢字、使いましょう (文法)
第6回/ Class 6	第2課 漢字、使いましょう (文法続き) 復習、新出語彙、いっしょに考えましょう
第7回/ Class 7	第2課 漢字、本文精読 (+答えましょう)、話しましょう
第8回/ Class 8	第2課 漢字、復習 (使いましょう、語彙、漢字)
第9回/ Class 9	第3課 漢字、使いましょう (文法)
第10回/ Class 10	第3課 漢字、使いましょう (文法) 復習、新出語彙、いっしょに考えましょう
第11回/ Class 11	第3課 漢字、本文精読 (+答えましょう)、話しましょう
第12回/ Class 12	第3課 漢字、復習 (使いましょう、語彙、漢字)
第13回/ Class 13	第1課 総復習
第14回/ Class 14	第2課 総復習
第15回/ Class 15	第3課 総復習
第16回/ Class 16	前期テスト
第17回/ Class 17	テストF B、その他

### 使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material

・テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版 本冊 ・テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版 ワークブック

### 成績評価 / Evaluation

成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。

### 備考 / Memo

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	総合日本語 II		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	後期	配当年次	1 年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17 回	授業時間	5 単位時間	

実務経験に基づいた授業内容・方法

テキスト+副教材を使用し、読む・聞く・書く・話すの四技能をバランスよく伸ばしていく授業をしていく。

### 授業概要（学修内容・方法） / Course Description

当該課で必要な文法を導入後、練習。次に、新出語彙の確認し、本文精読をする。その際、内容の確認のためにハンドアウトなどを使用。その後、その当該課のトピックを使ったディスカッションや作文、意見発表等をする。新出漢字については毎時間最初に4～5個進める。課の最後に漢字・語彙・文法のまとめ問題をする。毎回ではないが、副教材の読解や聴解を適宜入れる。

### 授業目的・到達目標 / Course Objective

日常生活での出来事や社会的な話題について日本語で理解ができ、なおかつ自分の考えや意見が理由とともに説明できる、また、異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見が交換できることを目標に日本語力を四技能バランスよく伸ばすことを目指す。

回数 / 週	授業計画 / Course Schedule
第1回/ Class 1	第4課 漢字、使いましょう（文法）
第2回/ Class 2	第4課 漢字、使いましょう（文法）復習、新出語彙、いっしょに考えましょう
第3回/ Class 3	第4課 漢字、本文精読（+答えましょう）、話しましょう
第4回/ Class 4	第4課 漢字、復習（使いましょう、語彙、漢字）
第5回/ Class 5	第5課 漢字、使いましょう（文法）
第6回/ Class 6	第5課 漢字、使いましょう（文法）復習、新出語彙、いっしょに考えましょう
第7回/ Class 7	第5課 漢字、本文精読（+答えましょう）、話しましょう
第8回/ Class 8	第5課 漢字、復習（使いましょう、語彙、漢字）
第9回/ Class 9	第6課 漢字、使いましょう（文法）
第10回/ Class 10	第6課 漢字、使いましょう（文法）復習、新出語彙、いっしょに考えましょう
第11回/ Class 11	第6課 漢字、本文精読（+答えましょう）、話しましょう
第12回/ Class 12	第6課 漢字、復習（使いましょう、語彙、漢字）
第13回/ Class 13	第4課 総復習
第14回/ Class 14	第5課 総復習
第15回/ Class 15	第6課 総復習
第16回/ Class 16	後期テスト
第17回/ Class 17	テストF B、その他

### 使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material

・テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版 本冊 ・テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版 ワークブック

### 成績評価 / Evaluation

成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。

### 備考 / Memo

授業科目 Course Title		国際関係概論 I		担当教員	実務経験 ( )
				Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次	1年	実務経歴	
授業形態	講義	単位区分	必修		
授業回数	17回	授業時間	1単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法					
ディスカッションや小論文を書いて意見が述べられるようにする。その際の日本語の使い方などを指導する。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description					
主に時事問題を取り上げ、問題の原因や対策を分析する。また、日本文化や習慣も取り上げ、母国との比較を行うことで国際的で柔軟な思考力を身に付ける。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
取り上げたトピックについてのディスカッションや発表を通じて、意見を効果的に伝える力を身に付ける。					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第1回/ Class 1	ホテルの仕事について (資料準備→イメージ抽出)				
第2回/ Class 2	「ホテルが求める学生とは」 考察→グループ分け→グループ内討論→発表				
第3回/ Class 3	討論内容の発表→次テーマの決定→討論				
第4回/ Class 4	グループごとに発表→発表を聞いた感想				
第5回/ Class 5	資料教材 1→意見を書く				
第6回/ Class 6	発表				
第7回/ Class 7	資料教材 2→意見を書く				
第8回/ Class 8	発表				
第9回/ Class 9	予備日 (H 検定過去問題などで対応)				
第10回/ Class 10	ホテル見学を想定し、ホテル調査→グループ発表				
第11回/ Class 11	グループ発表				
第12回/ Class 12	予備日 (H 検定過去問題などで対応)				
第13回/ Class 13	予備日 (H 検定過去問題などで対応)				
第14回/ Class 14	予備日 (H 検定過去問題などで対応)				
第15回/ Class 15	予備日 (H 検定過去問題などで対応)				
第16回/ Class 16	前期試験				
第17回/ Class 17	試験 F B 他				
・資料教材 (新聞記事・WEB より抜粋)					
成績評価 / Evaluation					
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

授業科目 Course Title	観光概論		担当教員	実務経験 ( 有 )
			Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴 観光業 30 年
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間	

実務経験に基づいた授業内容・方法

観光分野に必要な知識を習得する。

#### 授業概要 (学修内容・方法) / Course Description

大学レベルの観光学部・学科で学ぶ観光基礎と各セクションの問題解決方法を考えてみる。

#### 授業目的・到達目標 / Course Objective

観光基礎を学び自身で問題解決力を身に付け、就職へとつなげる。

回数 / 週	授業計画 / Course Schedule
第 1 回/ Class 1	旅行業 I
第 2 回/ Class 2	旅行業 II
第 3 回/ Class 3	ホテル業 I
第 4 回/ Class 4	ホテル業 II
第 5 回/ Class 5	テーマパーク業 I
第 6 回/ Class 6	テーマパーク業 II
第 7 回/ Class 7	観光メディア業 I
第 8 回/ Class 8	観光メディア業 II
第 9 回/ Class 9	鉄道業 I
第 10 回/ Class 10	鉄道業 II
第 11 回/ Class 11	航空業 I
第 12 回/ Class 12	航空業 II
第 13 回/ Class 13	クルーズ業 I
第 14 回/ Class 14	クルーズ業 II
第 15 回/ Class 15	観光行政 (国)
第 16 回/ Class 16	後期試験
第 17 回/ Class 17	観光行政 (地方公共団体)

#### 使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material

観光入門 観光の仕事・学習・研究をつなぐ

青木義英 (編著)・廣岡裕一 (編著)・神田孝治 (編著)

#### 成績評価 / Evaluation

成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。

#### 備考 / Memo



授業科目 Course Title	観光概論		担当教員	実務経験 ( 有 )
			Instructor	
開講時期 Term	後期	配当年次	2 年	実務経歴 観光業 30 年
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間	

実務経験に基づいた授業内容・方法

観光分野に必要な知識を習得する。

#### 授業概要 (学修内容・方法) / Course Description

大学レベルの観光学部・学科で学ぶ観光基礎と各セクションの問題解決方法を考えてみる。

#### 授業目的・到達目標 / Course Objective

観光基礎を学び自身で問題解決力を身に付け、就職へとつなげる。

回数 / 週	授業計画 / Course Schedule
第 1 回/ Class 1	日本観光地誌 I
第 2 回/ Class 2	日本観光地誌 II
第 3 回/ Class 3	海外観光地誌 I
第 4 回/ Class 4	海外観光地誌 II
第 5 回/ Class 5	国際観光 I
第 6 回/ Class 6	国際観光 II
第 7 回/ Class 7	観光言語 I
第 8 回/ Class 8	観光政策
第 9 回/ Class 9	観光関連法規
第 10 回/ Class 10	観光統計
第 11 回/ Class 11	観光会計
第 12 回/ Class 12	観光地理学
第 13 回/ Class 13	観光人類学・心理学
第 14 回/ Class 14	観光経済学
第 15 回/ Class 15	観光マーケティング論・エコツーリズム論
第 16 回/ Class 16	模擬試験
第 17 回/ Class 17	観光まちづくり論

#### 使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material

観光入門 観光の仕事・学習・研究をつなぐ

青木義英 (編著)・廣岡裕一 (編著)・神田孝治 (編著)

#### 成績評価 / Evaluation

成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。

#### 備考 / Memo



## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		レストラン概論Ⅲ		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	前期	配当年次	2年	実務経歴 ホテルにて24年間、料飲・宴会サービスに従事。	
授業形態	演習	単位区分	必修		
授業回数	17回	授業時間	2単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 現場での経験や知識を活かして、教科書・実技・各種資料などを用いて授業を進めていきます。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 教科書『ホテルビジネス』をベースに、知識や考え方、実技なども身に付けてもらえるように進めていきます。					
授業目的・到達目標 / Course Objective レストランサービス技能検定にも合格できるスキルレベルを目指します。					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第1回/ Class 1	概要説明				
第2回/ Class 2	ホテルビジネス レストラン① レストランの種類				
第3回/ Class 3	小テストおよび解答説明				
第4回/ Class 4	ホテルビジネス レストラン② 組織と業務役割				
第5回/ Class 5	小テストおよび解答説明				
第6回/ Class 6	ホテルビジネス レストラン③ 商品特性				
第7回/ Class 7	小テストおよび解答説明				
第8回/ Class 8	ホテルビジネス レストラン④ 使用する備品				
第9回/ Class 9	小テストおよび解答説明				
第10回/ Class 10	ホテルビジネス レストラン⑤ テーブルセッティング				
第11回/ Class 11	試験対策①				
第12回/ Class 12	試験対策②				
第13回/ Class 13	前期試験				
第14回/ Class 14	料飲部門の実務・基礎知識①食材				
第15回/ Class 15	料飲部門の実務・基礎知識②メニュー				
第16回/ Class 16	料飲部門の実務・基礎知識③サービス				
第17回/ Class 17	料飲部門の実務・基礎知識④食品衛生				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ホテルビジネス 基礎からわかるレストランサービス・スタンダードマニュアル					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	レストラン概論Ⅳ		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	後期	配当年次	2年	実務経歴 ホテルにて24年間、料飲・宴会サービスに従事
授業形態	演習	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 現場での経験や知識を活かして、教科書・実技・各種資料などを用いて授業を進めていきます。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 教科書『ホテルビジネス』をベースに、知識や考え方、実技なども身に付けてもらえるように進めていきます。				
授業目的・到達目標 / Course Objective レストランサービス技能検定にも合格できるスキルレベルを目指します。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/ Class 1	主な担当者の業務①			
第2回/ Class 2	H検定 直前対策 過去問題①			
第3回/ Class 3	H検定 直前対策 過去問題②			
第4回/ Class 4	H検定 直前対策 過去問題③			
第5回/ Class 5	H検定 直前対策 過去問題④			
第6回/ Class 6	H検定 本試験			
第7回/ Class 7	H検定 フィードバック (料飲部門)			
第8回/ Class 8	サービス実技① テーブルセッティング～お出迎え・ご案内			
第9回/ Class 9	サービス実技② 料理の提供～トレイ・皿の持ち方			
第10回/ Class 10	サービス実技③ 飲料の提供～ワイン・コーヒーのサービス			
第11回/ Class 11	サービス実技④ 片付け～バッシングなど			
第12回/ Class 12	試験対策①			
第13回/ Class 13	試験対策②			
第14回/ Class 14	後期試験			
第15回/ Class 15	後期試験フィードバック			
第16回/ Class 16	2年間の総復習①			
第17回/ Class 17	2年間の総復習②			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ホテルビジネス 基礎からわかるレストランサービス・スタンダードマニュアル				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	PC 表計算		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	演習	単位区分	必修	企業内実務経歴
授業回数	17 回	授業時間	3 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
<b>授業概要 (学修内容・方法) / Course Description</b> 1 人一台のパソコン。1 年次からの表現力のさらに向上をさせ、後期につなげていく。 日本情報処理検定協会の表計算部門の準 2 級レベルの作成スキルを実習。				
<b>授業目的・到達目標 / Course Objective</b> Excel を駆使して効率的かつ有効な表計算活用を修得させ、ホテル等でのマネジメントやインバウンド獲得のための営業活動等に役立てる。日本情報処理検定協会の表計算部門の準 2 級以上の級の取得				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Excel2021 第 1 章 関数の利用			
第 2 週/ Week 2	Excel2021 第 1 章 関数の利用			
第 3 週/ Week 3	Excel2021 第 2 章 表作成の活用			
第 4 週/ Week 4	Excel2021 第 2 章 表作成の活用			
第 5 週/ Week 5	Excel2021 第 3 章 グラフの活用			
第 6 週/ Week 6	Excel2021 第 3 章 グラフの活用			
第 7 週/ Week 7	パソコン検定対策			
第 8 週/ Week 8	パソコン検定対策			
第 9 週/ Week 9	パソコン検定対策			
第 10 週/ Week 10	パソコン検定			
第 11 週/ Week 11	PowerPoint2021 第 1 0 章 さあ、はじめよう			
第 12 週/ Week 12	PowerPoint2021 第 1 1 章 プレゼンテーション作成しよう			
第 13 週/ Week 13	PowerPoint2021 第 1 2 章 スライドショーを実行しよう			
第 14 週/ Week 14	総合問題			
第 15 週/ Week 15	総合問題			
第 16 週/ Week 16	前期試験対策			
第 17 週/ Week 17	前期試験実施 (Excel)			
<b>使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material</b> FOM 出版 よくわかる Microsoft Excel2021 応用 ・日本情報処理検定協会問題集 FOM 出版 よくわかる Word2021&Excel2021&PowerPoint2021 FOM 出版 よくわかる Excel2021 ドリル				
<b>成績評価 / Evaluation</b> 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	PC プレゼンテーション		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 ) 実務経歴 / Work Experience
開講時期 Term	後期	配当年次	2 年	
授業形態	演習	単位区分	必修	
授業回数	17 回	授業時間	3 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 1 人一台のパソコン。今までの知識、技能をを使いつつ、テーマについてのプレゼンテーションの仕方を学修する。				
授業目的・到達目標 / Course Objective PowerPoint を使用し、社内でのプレゼンテーションができるようにし、海外営業等で対応できるようにする。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Excel2021 第 5 章 データベースの活用			
第 2 週/ Week 2	Excel2021 第 5 章 データベースの活用			
第 3 週/ Week 3	Excel2021 第 6 章 ピポットテーブルとピポットグラフの作成			
第 4 週/ Week 4	Excel2021 第 6 章 ピポットテーブルとピポットグラフの作成			
第 5 週/ Week 5	Excel2021 第 7 章 マクロの作成			
第 6 週/ Week 6	Excel2021 第 7 章 マクロの作成			
第 7 週/ Week 7	PowerPoint2021 プレゼンテーション発表準備			
第 8 週/ Week 8	PowerPoint2021 プレゼンテーション発表準備			
第 9 週/ Week 9	PowerPoint2021 プレゼンテーション発表準備			
第 10 週/ Week 10	PowerPoint2021 プレゼンテーション発表準備			
第 11 週/ Week 11	総合問題			
第 12 週/ Week 12	総合問題			
第 13 週/ Week 13	後期試験対策			
第 14 週/ Week 14	後期試験対策			
第 15 週/ Week 15	後期試験実施 (Excel)			
第 16 週/ Week 16	後期試験実施 (PowerPoint)			
第 17 週/ Week 17	プレゼンテーション発表			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material FOM 出版 よくわかる Microsoft Excel2021 応用 FOM 出版 よくわかる Word2021&Excel2021&PowerPoint2021 FOM 出版 よくわかる Excel2021 ドリル				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		宿泊概論Ⅲ		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	前期	配当年次	2年	実務経歴 ホテル業界 40 年以上勤務、内、私鉄系、航空系、外資系等、5 ホテルの開業を経験し、2014 年よりホテル旅館開業運営支援事業の(株) HAMA ソリューションズ設立、現在に至る	
授業形態	講義	単位区分	選択		
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 ホテル業の基盤である宿泊部門の基礎を教科書、パワーポイント、プリント問題を用い講義する					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description ホテルビジネスの基本につき、宿泊に関わる組織の業務内容を具体的に教科書や画像などで教示し、業界専門用語等は適時繰り返しの練習問題で知識を高める。又、日本語記述や会話力を高める為、アクティブラーニングを実践する。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 一年次において、ホテル業の核になる宿泊部門全般の基礎知識を習得し、宿泊業のどの様なカテゴリーでも通用するレベルを目指す。					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 回/ Class 1	自己紹介・授業目的と目標 ホテル業の概要				
第 2 回/ Class 2	ホテルの経営形態・運営組織・カテゴリー等の説明				
第 3 回/ Class 3	ホスピタリティマインド 宿泊部門組織全般 ラグジュアリーホテルとバジェットホテルの違い				
第 4 回/ Class 4	2022 年以後のホテル業界 宿泊部門全般 ホテルと旅館の違い				
第 5 回/ Class 5	宿泊部門 フロントサービス業務 宿泊部門と料飲部門の違い				
第 6 回/ Class 6	宿泊部門 専門用語				
第 7 回/ Class 7	フロントサービス&専門用語 練習問題				
第 8 回/ Class 8	宿泊部門 ハウスキーピング業務				
第 9 回/ Class 9	宿泊部門 専門用語 練習問題				
第 10 回/ Class 10	宿泊部門 フロントオフィス業務				
第 11 回/ Class 11	宿泊予約業務 予約経路 デジタルマーケティング				
第 12 回/ Class 12	宿泊 フロントオフィス 宿泊予約 部門専門用語 PMS				
第 13 回/ Class 13	宿泊予約の重要性 客室料金はどのように決まる 客室料金計算 PMS				
第 14 回/ Class 14	宿泊商品造成 宿泊料金と OTA 対策				
第 15 回/ Class 15	宿泊商品リサーチ MICE 戦略と旅行会社との関係性				
第 16 回/ Class 16	宿泊 (客室) 原価 部門比較				
第 17 回/ Class 17	職業としてのホテリア リクルート対策				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 宿泊業務の基礎 一般社団法人 日本ホテル教育センター					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo 前期は教科書を素材にした授業。後期は PPT 及びプリントによる練習問題を中心に授業実施する 又、宿泊分析数値問題等で、分析力を高める授業を中心に展開する。					



## 2024年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		宿泊概論Ⅳ		担当教員 Instructor	実務経験（有）
開講時期 Term	後期	配当年次	2年	実務経歴 ホテル業界40年勤務、内私鉄系、航空系、 外資系等、5ホテルの開業を経験し、2014 年よりホテル旅館開業運営支援事業の（株） HAMAソリューションズ設立、現在に至る	
授業形態	講義	単位区分	選択		
授業回数	17回	授業時間	2単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 ホテル業の基盤である宿泊部門の基礎を教科書、パワーポイント、プリント問題を用い講義する					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description ホテルビジネスの基本につき、宿泊に関わる組織の業務内容を具体的に教科書や画像などで教示し、業界専門用語等は適時繰り返しの練習問題で知識を高める。又、日本語記述や会話力を高める為、アクティブラーニングを実践する。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 一年次において、ホテル業の核になる宿泊部門全般の基礎知識を習得し、宿泊業のどのようなカテゴリーでも通用するレベルを目指す。					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第1回/Class 1	宿泊業の将来 AI時代の変化変貌		練習問題&レポート		
第2回/Class 2	宿泊プラン商品企画 日本の観光資源				
第3回/Class 3	他産業とホテル業の相違点 業界動向 市場比較		宿泊約款		
第4回/Class 4	レセプション業務 チェックイン ルームアサインメント		宿泊条件変更 PMS		
第5回/Class 5	レセプション業務 チェックアウト 会計業務		ホテル経理業務		
第6回/Class 6	宿泊業務と購買用度		練習問題&レポート		
第7回/Class 7	客室 FFE アメニティ その他備品				
第8回/Class 8	宿泊部門 数値分析 ホテル旅館分析指標				
第9回/Class 9	宿泊稼働率と経営指標との関連				
第10回/Class 10	イールドマネジメント REV PER		ダイナミックプライジング		
第11回/Class 11	ホテルシステム と リザーベーションシステム		PMS		練習問題&レポート
第12回/Class 12	ネット予約 デジタルマーケティング				
第13回/Class 13	ホテル宿泊部門 苦情クレーム処理の実態				
第14回/Class 14	ホテル業のコンプライアンス ホテルの不祥事				
第15回/Class 15	他業種のホテル業参入実態		練習問題&レポート		
第16回/Class 16	ホテル業 関連法規				
第17回/Class 17	リクルート対策 GD 面接対応		プレゼンテーション		
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 宿泊業務の基礎 一般社団法人 日本ホテル教育センター又は ホテルビジネス基礎編を代用しても構わない。					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo 前期は教科書を素材にした授業。後期はPPT及びプリントによる練習問題を中心に授業実施する 又、宿泊分析数値問題等で、分析力を高める授業を中心に展開する。					

授業科目 Course Title		観光概論Ⅲ		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	前期	配当年次	2年	実務経歴 添乗実務 30年	
授業形態	講義	単位区分	選択		
授業回数	17回	授業時間	2単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 添乗実務の講義と試験対策					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 添乗サービス協会の教本による講義					
授業目的・到達目標 / Course Objective 観光業に関わる業務全般知識の習得 (国内旅程管理主任者資格をベースとする)					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第1回/ Class 1	添乗という職業				
第2回/ Class 2	添乗サービスの基本				
第3回/ Class 3	添乗員の仕事の役割と仕組み				
第4回/ Class 4	ツアー開始前 準備				
第5回/ Class 5	打合せ業務				
第6回/ Class 6	確認業務				
第7回/ Class 7	座席割と部屋割り				
第8回/ Class 8	バス利用の添乗・準備・受付け				
第9回/ Class 9	バス出発・休憩				
第10回/ Class 10	観光・見学				
第11回/ Class 11	昼食時の業務				
第12回/ Class 12	ショッピング/自由行動/オプションについて				
第13回/ Class 13	宿泊の実務				
第14回/ Class 14	朝の出発業務				
第15回/ Class 15	ツアー終了・終了報告				
第16回/ Class 16	航空機利用の添乗/受付準備				
第17回/ Class 17	搭乗手続き → つづきは後期				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 日本添乗サービス協会 旅程管理教本/添乗員の旅行業法・約款					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		観光概論IV		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	後期	配当年次	2 年	実務経歴 添乗実務 30 年	
授業形態	講義	単位区分	選択		
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 添乗実務の講義と試験対策					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description  添乗サービス協会の教本による講義					
授業目的・到達目標 / Course Objective 観光業に関わる業務全般知識の習得 (国内旅程管理主任者資格をベースとする)					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 回/ Class 1	搭乗手続き・シートアサイン				
第 2 回/ Class 2	受付・誘導				
第 3 回/ Class 3	ファイナル報告・再集合・誘導				
第 4 回/ Class 4	搭乗・機内・到着誘導・バス乗車				
第 5 回/ Class 5	JR 利用の添乗・受付準備				
第 6 回/ Class 6	受付・団体乗車券の取扱い				
第 7 回/ Class 7	乗車・列車内・到着・バス誘導				
第 8 回/ Class 8	旅行業法・約款				
第 9 回/ Class 9	旅行業法・約款				
第 10 回/ Class 10	旅行業法・約款				
第 11 回/ Class 11	旅行業法・約款				
第 12 回/ Class 12	旅行業法・約款				
第 13 回/ Class 13	旅行業法・約款				
第 14 回/ Class 14	旅行業法・約款				
第 15 回/ Class 15	模擬試験				
第 16 回/ Class 16	模擬試験				
第 17 回/ Class 17	本試験				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 日本添乗サービス協会 旅程管理教本/添乗員の旅行業法・約款					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

授業科目 Course Title	ホテルマネジメント&マネジメント I		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴 ホテル業界 40 年以上勤務、内、私鉄系、航空系、外資系等、5 ホテルの開業を経験し、2014 年よりホテル旅館開業運営支援事業の(株) HAMA ソリューションズ設立、現在に至る
授業形態	講義	単位区分	選択	
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 ホテル開業に伴う、マーケティング及び開業に対してのマネジメント構想について講義				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description ホテル開業工程や必要な業務内容を PPT やプリントで講義し、数値管理、業務分析等の計算式は練習問題にて習得又、就活対策として、プレゼンテーション能力を高める為の実践授業を実施する				
授業目的・到達目標 / Course Objective 宿泊部門での数値分析が出来て、ホテルマーケティングの知識を持って、分析結果から戦略戦術の発想が出来る事				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 回/ Class 1	ホテルの原価とは何か? 固定費変動費			
第 2 回/ Class 2	ホテル旅館の倒産する原因、潰れるホテルの共通点			
第 3 回/ Class 3	ホテルの利益と経費			
第 4 回/ Class 4	ホテルの数値分析練習問題			
第 5 回/ Class 5	ホテル損益収支問題この売上げで利益はどうなる?			
第 6 回/ Class 6	経費削減二つの方向性			
第 7 回/ Class 7	ホテル FBC の重要性原価意識			
第 8 回/ Class 8	PDCA サイクルの経費削減			
第 9 回/ Class 9	ホテル用度購買でのコストコントロール			
第 10 回/ Class 10	ホテルレストランのイベント戦略			
第 11 回/ Class 11	ホテルのマーケティングプランルームセールスの役割練習問題			
第 12 回/ Class 12	ホテルの販売促進施策とは催事企画年間催事計画素材は			
第 13 回/ Class 13	催事収支計画イベント企画書の作り方損益分岐点売上			
第 14 回/ Class 14	ホテルの広告宣伝戦略購買動向 (利用分析) 練習問題			
第 15 回/ Class 15	ホテルシステム組織的な情報管理 CRM 顧客管理 PMS			
第 16 回/ Class 16	ホテル開業プラン開業工程 PMS			
第 17 回/ Class 17	グローバルオペレーターが変えたホテル経営練習問題 PMS			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ホテルマーケティング論 (株) マーケティングオフィス講師用、ホテルマーケティングブック 中央経済者講師用 ホテル経営白桃書房講師用				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo 特にホテルマネジメントでは宿泊分析、ホテル損益収支の見方や作り方など計算問題を主流とし、数字に親しみ、数字でホテル経営を理解できる授業とする。(もてなしだけでは、もう食えない) 事を指導する。				

## 2024年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ホテルマネジメント&マネジメントⅡ		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	後期	配当年次	1年	実務経歴 ホテル業界 40 年勤務、内私鉄系、航空系、 外資系等、5 ホテルの開業を経験し、2014 年よりホテル旅館開業運営支援事業の (株) HAMA ソリューションズ設立、現在に至る
授業形態	講義	単位区分	選択	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 ホテル開業に伴う、マーケティング及び開業に対してのマネジメント構想について講義				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description ホテル開業工程や必要な業務内容を PPT やプリントで講義し、数値管理、業務分析等の計算式は練習問題にて習得 又、就活対策として、プレゼンテーション能力を高める為の実践授業を実施する				
授業目的・到達目標 / Course Objective 宿泊部門での数値分析が出来て、ホテルマーケティングの知識を持って、分析結果から戦略戦術の発想が出来る事				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 回/ Class 1	組織的な情報管理 CRM 顧客管理システムホテルアンケート			
第 2 回/ Class 2	時代変化とネットマーケティングシェアリングビジネス			
第 3 回/ Class 3	ホテルの危機管理コンプライアンス			
第 4 回/ Class 4	ホテル関連法律開業開発消防保健営業申請練習問題&レポート			
第 5 回/ Class 5	ホテル会計経理業務			
第 6 回/ Class 6	不動産投資からみたホテルの事業特性			
第 7 回/ Class 7	ホテル業の経費削減練習問題&レポート			
第 8 回/ Class 8	ホテルコストを考える FBC 原価管理 PMS グループディスカッション (GD)			
第 9 回/ Class 9	ホテル経営 (開業工程) 組織・システム FFE 備品購買			
第 10 回/ Class 10	ホテル経営 (開業工程) ルールブックマニュアル料金施策			
第 11 回/ Class 11	ホテル経営 (開業工程) マーケティング広報開業レセプション			
第 12 回/ Class 12	ホテル運営に関する分析手法 1. 競合ペネトレーション分析他練習問題&レポート			
第 13 回/ Class 13	ホテル運営に関する分析手法 2. ポジショニング分析他練習問題&レポート			
第 14 回/ Class 14	ホテルのブランド管理ホテル旅館の M&A PMS グループディスカッション (GD)			
第 15 回/ Class 15	観光業の生産性問題解決のロジカルシンキング他 PMS			
第 16 回/ Class 16	インバウンド誘客の商品造成発想のポイント SNS 活用事例 PMS 練習問題&レポート			
第 17 回/ Class 17	ホテルの人材育成社会人としての教訓社会人の心得 PMS			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ホテルマーケティング論 (株) マーケティングオフィス講師用、ホテルマーケティングブック中央経済者講師用 ホテル経営白桃書房講師用				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価				
備考 / Memo 学生用教材はプリントと他には Web 上でリサーチする。学生に PC やスマートフォン使用許可する				

授業科目 Course Title		インバウンド概論 I		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴 添乗実務/MICE 業務 30 年	
授業形態	講義	単位区分	選択		
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 インバウンド実務の講義					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description  インバウンド主任者テキストによる講義					
授業目的・到達目標 / Course Objective  インバウンド客に対するサービス、マナーの習得					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 回/ Class 1	観光総論				
第 2 回/ Class 2	観光総論				
第 3 回/ Class 3	観光総論				
第 4 回/ Class 4	インバウンド総論				
第 5 回/ Class 5	インバウンド総論				
第 6 回/ Class 6	インバウンド総論				
第 7 回/ Class 7	インバウンド総論				
第 8 回/ Class 8	インバウンドと消費				
第 9 回/ Class 9	インバウンドと消費				
第 10 回/ Class 10	インバウンドと消費				
第 11 回/ Class 11	インバウンドとビジネス				
第 12 回/ Class 12	インバウンドとビジネス				
第 13 回/ Class 13	インバウンドとビジネス				
第 14 回/ Class 14	インバウンドとビジネス				
第 15 回/ Class 15	インバウンドとニューツーリズム				
第 16 回/ Class 16	インバウンドとニューツーリズム				
第 17 回/ Class 17	インバウンドとニューツーリズム				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material インバウンド実務主任者 テキスト					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		インバウンド概論Ⅱ		担当教員 Instructor	実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	後期	配当年次	2 年	実務経歴 添乗実務/MICE 業務 30 年	
授業形態	講義	単位区分	選択		
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 インバウンド実務の講義					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description  インバウンド主任者テキストによる講義					
授業目的・到達目標 / Course Objective  インバウンド客に対するサービス、マナーの習得					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 回/ Class 1	訪日外国人の理解				
第 2 回/ Class 2	訪日外国人の理解				
第 3 回/ Class 3	訪日外国人の理解				
第 4 回/ Class 4	訪日外国人への対応				
第 5 回/ Class 5	訪日外国人への対応				
第 6 回/ Class 6	訪日外国人への対応				
第 7 回/ Class 7	インバウンドの集客				
第 8 回/ Class 8	インバウンドの集客				
第 9 回/ Class 9	インバウンドの集客				
第 10 回/ Class 10	インバウンドとテーマ別まちづくり				
第 11 回/ Class 11	インバウンドとテーマ別まちづくり				
第 12 回/ Class 12	ウェブプロモーション				
第 13 回/ Class 13	ウェブプロモーション				
第 14 回/ Class 14	ウェブプロモーション				
第 15 回/ Class 15	インバウンド関連法規				
第 16 回/ Class 16	インバウンド関連法規				
第 17 回/ Class 17	インバウンドに関する時事問題				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material インバウンド実務主任者 テキスト					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					



授業科目 Course Title		日本語能力試験対策 III (語彙)		担当教員	実務経験 ( )
開講時期 Term		前期	配当年次	Instructor	
授業形態	講義	単位区分	2年	選択	実務経歴
授業回数	17回	授業時間	1時間単位		
実務経験に基づいた授業内容・方法					
テキストをメインに使用し、最終的にN2レベルの能力試験問題に対応できるようにする。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description					
一回の授業でテキスト1課分を進めて、語彙の中でピックアップし導入をして、例文や使い方や注意点の確認後ドリルをする。授業の最初に前回の復習を適宜入れていく。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
2年間でN2合格を目指すのが1年生前期は基礎であるN3レベルを固める。					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第1回/ Class 1	ウォーミングアップ (復習ドリル) 第1回、1. 時間				
第2回/ Class 2	ウォーミングアップ (復習ドリル) 第2回、2. 家				
第3回/ Class 3	ウォーミングアップ (復習ドリル) 第3回、3. お金				
第4回/ Class 4	ウォーミングアップ (復習ドリル) 第4回、4. 数・量				
第5回/ Class 5	ウォーミングアップ (復習ドリル) 第5回、5. 国・社会				
第6回/ Class 6	6. 産業・技術				
第7回/ Class 7	7. 自然				
第8回/ Class 8	8. 体・健康				
第9回/ Class 9	第1回実践練習				
第10回/ Class 10	9. 交通				
第11回/ Class 11	10. 位置・方向				
第12回/ Class 12	11. 趣味・活動				
第13回/ Class 13	12. 学校・学問				
第14回/ Class 14	1~6復習				
第15回/ Class 15	7~12復習				
第16回/ Class 16	前期試験				
第17回/ Class 17	試験FB				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
・日本語能力試験問題集N2語彙スピードマスター					
成績評価 / Evaluation					
成績は、定期試験40%・出席状況30%・授業参加姿勢30%により判断し、総合点によりA・B・C・D・F評価を決定する。					
備考 / Memo					

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	日本語能力試験対策 IV (語彙)		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	後期	配当年次	2年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	選択	
授業回数	17回	授業時間	1時間単位	

実務経験に基づいた授業内容・方法

テキストをメインに使用し、最終的にN2レベルの能力試験問題に対応できるようにする。

### 授業概要 (学修内容・方法) / Course Description

一回の授業でテキスト1課分を進めて、語彙の中でピックアップし導入をして、例文や使い方や注意点の確認後ドリルをする。授業の最初に前回分の復習を適宜入れていく。

### 授業目的・到達目標 / Course Objective

2年間でN2合格を目指す。1年生後期はN3レベルを固め、N2に移行していく。

### 回数 / 週 授業計画 / Course Schedule

第1回/ Class 1	13. 仕事①
第2回/ Class 2	14. 仕事②
第3回/ Class 3	15. 能力・評価
第4回/ Class 4	16. パソコン・プリンターなど
第5回/ Class 5	第2回実践練習2
第6回/ Class 6	17. 表・グラフ
第7回/ Class 7	18. どんな気持ち?
第8回/ Class 8	19. 人と人
第9回/ Class 9	20. 言葉のいろいろな形
第10回/ Class 10	21. 意味が似ている言葉①
第11回/ Class 11	22. 意味が似ている言葉②
第12回/ Class 12	23. 反対の意味の言葉など
第13回/ Class 13	24. 音が同じ言葉
第14回/ Class 14	13～18 復習
第15回/ Class 15	19～24 復習、第3回実践練習
第16回/ Class 16	後期試験
第17回/ Class 17	試験FB

### 使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material

・日本語能力試験問題集N2 語彙スピードマスター

### 成績評価 / Evaluation

成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。

### 備考 / Memo

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	日本語能力試験対策 III (文法)		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	選択	
授業回数	17 回	授業時間	1 時間単位	
実務経験に基づいた授業内容・方法 テキストをメインに使用し、最終的にN2レベルの能力試験問題に対応できるようにする。				
<b>授業概要 (学修内容・方法) / Course Description</b> テキストの文法事項の導入をし、例文や接続や注意点を確認後、問題をする。その後、課ごとのまとめの問題をする。授業の最初に前回の復習を適宜入れていく。				
<b>授業目的・到達目標 / Course Objective</b> 2年間でN2合格を目指す。1年生前期はN2レベルに問題に慣れる。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/ Class 1	1 スタッフ募集のお知らせ 1～4			
第2回/ Class 2	1 スタッフ募集のお知らせ 5～8			
第3回/ Class 3	1 スタッフ募集のお知らせ まとめ問題      2 転任挨拶 (1) 9～11			
第4回/ Class 4	2 転任挨拶 (1) 12～15			
第5回/ Class 5	2 転任挨拶 (2) 16～19			
第6回/ Class 6	2 転任挨拶 (2) 20～21      まとめ問題			
第7回/ Class 7	3 ホテルの仕事 22～24			
第8回/ Class 8	3 ホテルの仕事 25～27			
第9回/ Class 9	3 ホテルの仕事 28～29      まとめ問題			
第10回/ Class 10	4 台風情報 30～33			
第11回/ Class 11	4 台風情報 34～36      まとめ問題			
第12回/ Class 12	5 就職活動 (1) 37～40			
第13回/ Class 13	5 就職活動 (1) 41～42      5 就職活動 (2) 43～44			
第14回/ Class 14	5 就職活動 (2) 45～47      まとめ問題			
第15回/ Class 15	1～5 総復習			
第16回/ Class 16	前期試験			
第17回/ Class 17	試験FB等			
<b>使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material</b> ・TRY! 日本語能力試験N2				
<b>成績評価 / Evaluation</b> 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	日本語能力試験対策 IV (文法)		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	後期	配当年次	2 年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	選択	
授業回数	17 回	授業時間	1 時間単位	
実務経験に基づいた授業内容・方法 テキストをメインに使用し、最終的にN2レベルの能力試験問題に対応できるようにする。				
<b>授業概要 (学修内容・方法) / Course Description</b> テキストの文法事項の導入をし、例文や接続や注意点を確認後、問題をする。その後、課ごとのまとめの問題をする。授業の最初に前回の復習を適宜入れていく。テキスト終了後は、実践問題をこなしていく。				
<b>授業目的・到達目標 / Course Objective</b> 2年間でN2合格を目指す。1年生後期はN2レベルの問題にある程度対応できるようにする。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/ Class 1	6 苦労した5年間 (1) 48～50			
第2回/ Class 2	6 苦労した5年間 (1) 51～52		6 苦労した5年間 (2) 53～54	
第3回/ Class 3	6 苦労した5年間 (2) 55～57			
第4回/ Class 4	6 苦労した5年間 (2) 58～59		まとめ問題	
第5回/ Class 5	7 オオカミと生態系 (1) 60～62			
第6回/ Class 6	7 オオカミと生態系 (1) 63～65			
第7回/ Class 7	7 オオカミと生態系 (2) 66～69			
第8回/ Class 8	7 オオカミと生態系 (2) 70～72			
第9回/ Class 9	7 オオカミと生態系 まとめ問題			
第10回/ Class 10	8 取引先で 73～75			
第11回/ Class 11	8 取引先で 76～77 まとめ問題			
第12回/ Class 12	9 食べ放題 (1) 78～81			
第13回/ Class 13	9 食べ放題 (1) 82～84			
第14回/ Class 14	6～9 総復習			
第15回/ Class 15	後期試験			
第16回/ Class 16	試験FB等			
第17回/ Class 17	9 食べ放題 (2) 85～88			
<b>使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material</b> ・TRY! 日本語能力試験N2				
<b>成績評価 / Evaluation</b> 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点によりA・B・C・D・F評価を決定する。				
<b>備考 / Memo</b>				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	総合英語Ⅲ		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	選択	
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法				
<b>授業概要 (学修内容・方法) / Course Description</b> ホテルで求められる英語スキルエビデンスとしての TOEIC 対策に力点を置いた内容				
<b>授業目的・到達目標 / Course Objective</b> TOEIC 試験でのハイスコア取得				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 回/ Class 1	英語スキル確認テスト			
第 2 回/ Class 2	英語スキル確認テストフィードバック			
第 3 回/ Class 3	TOEIC でハイスコアを獲得するためのポイント、TOEIC 試験内容の理解			
第 4 回/ Class 4	テーマ 1 : 写真描写問題①			
第 5 回/ Class 5	テーマ 1 : 写真描写問題②			
第 6 回/ Class 6	テーマ 2 : スコアアップの生命線①			
第 7 回/ Class 7	テーマ 2 : スコアアップの生命線②			
第 8 回/ Class 8	テーマ 3 : 1 分弱スピーチ①			
第 9 回/ Class 9	テーマ 3 : 1 分弱スピーチ②			
第 10 回/ Class 10	テーマ 4 : 品詞と文法が大事①			
第 11 回/ Class 11	テーマ 4 : 品詞と文法が大事②			
第 12 回/ Class 12	テーマ 5 : 難問とのけんかをやめて①			
第 13 回/ Class 13	テーマ 5 : 難問とのけんかをやめて②			
第 14 回/ Class 14	テーマ 6 : リーディング最大の「山脈」①			
第 15 回/ Class 15	テーマ 6 : リーディング最大の「山脈」②			
第 16 回/ Class 16	前期試験			
第 17 回/ Class 17	前期試験フィードバック			
<b>使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material</b> 最適な TOEIC 対策書籍を選定し、それを利用する。 「ゼロからの TOEIC® L&R テスト 600 点 全パート講義」「TOEIC L&R テスト 至高の模試 600 問」等				
<b>成績評価 / Evaluation</b> 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	総合英語IV		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	後期	配当年次	2 年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	選択	
授業回数	17 回	授業時間	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法				
<b>授業概要 (学修内容・方法) / Course Description</b> ホテルで求められる英語スキルエビデンスとしての TOEIC 対策に力点を置いた内容				
<b>授業目的・到達目標 / Course Objective</b> TOEIC 試験でのハイスコア取得				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 回/ Class 1	模擬問題①			
第 2 回/ Class 2	模擬問題①フィードバック			
第 3 回/ Class 3	模擬問題②			
第 4 回/ Class 4	模擬問題②フィードバック			
第 5 回/ Class 5	模擬問題③			
第 6 回/ Class 6	模擬問題③フィードバック			
第 7 回/ Class 7	過去問題①			
第 8 回/ Class 8	過去問題①フィードバック			
第 9 回/ Class 9	過去問題②			
第 10 回/ Class 10	過去問題②フィードバック			
第 11 回/ Class 11	過去問題③			
第 12 回/ Class 12	過去問題③フィードバック			
第 13 回/ Class 13	過去問題④			
第 14 回/ Class 14	過去問題④フィードバック			
第 15 回/ Class 15	試験対策テクニック			
第 16 回/ Class 16	後期試験			
第 17 回/ Class 17	後期試験フィードバック			
<b>使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material</b> 最適な TOEIC 対策書籍を選定し、それを利用する。 「ゼロからの TOEIC® L&R テスト 600 点 全パート講義」「TOEIC L&R テスト 至高の模試 600 問」等				
<b>成績評価 / Evaluation</b> 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		宴会概論&実務Ⅲ		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	前期	配当年次	2年	実務経歴 /福岡市内のシティホテルにて宴会・レストラン 30年の経験、ブライダル5年の経験	
授業形態	演習	単位区分	必修		
授業回数	17回	授業時間	2単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法					
宴会部門においての会議・パーティー・婚礼の運営などの知識および実務経験を活かした講義と実習授業					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description					
宴会部門の組織体系、会議、パーティー、婚礼の運営・関連知識の講義および実習授業					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
一般社団法人日本ホテル教育センター認定のホテルビジネス検定 (H検定) 2級の合格を目標とする。					
宴会業務の実務に関する知識および日本語 (業界用語・接客用語など) と実技の習得を目標とする。					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第1回/ Class 1	自己紹介と概要説明				
第2回/ Class 2	宴会の特徴とは(レストランとの違いと知識) (別紙資料)				
第3回/ Class 3	宴会と料飲サービスの違いを学ぶ (別紙資料)				
第4回/ Class 4	テーブルマナーの知識 (別紙資料) ブライダルの会場のセッティングから学ぶ				
第5回/ Class 5	食事の国際習慣・プロトコールについて①基本知識 (料飲接客サービス技法)				
第6回/ Class 6	ホテルレストランサービスの試験の内容から見るサービスの知識 (料飲接客サービス技法)				
第7回/ Class 7	小テスト① 宴会の全容の問題、調理部門の問題				
第8回/ Class 8	①宴会知識/ ナフキンの折り方とクロスの掛け方				
第9回/ Class 9	②宴会知識/ お客様の案内とチェアサービス				
第10回/ Class 10	③宴会知識/ 2枚・3枚・4枚の皿の持ち方とバッシング				
第11回/ Class 11	④宴会・調理部門/ H検定の中から宴会、調理に関する問題を徹底研究				
第12回/ Class 12	⑤宴会・調理部門/ H検定の問題を解く、解説と分析				
第13回/ Class 13	前期試験に向けての問題の傾向と解説①				
第14回/ Class 14	前期試験に向けての問題の傾向と解説②				
第15回/ Class 15	前期試験				
第16回/ Class 16	前期試験フィードバック・前期を振り返り後期の課題・H検定合格に向けて				
第17回/ Class 17	H検定対策 過去問から探る課題点と対策				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
ホテルビジネス					
基礎からわかるレストランサービス・スタンダードマニュアル					
西洋料理 料飲接客サービス技法					
成績評価 / Evaluation					
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					



## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	宴会概論&実務IV		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	後期	配当年次	2年	実務経歴 /福岡市内のシティホテルにて宴会・レストラン 30年の経験、ブライダル5年の経験
授業形態	演習	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 宴会部門においての会議・パーティー・婚礼の運営などの知識および実務経験を活かした講義と実習授業				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 宴会部門の組織体系、会議、パーティー、婚礼の運営・関連知識の講義および実習授業				
授業目的・到達目標 / Course Objective 一般社団法人日本ホテル教育センター認定のホテルビジネス検定 (H検定) 2級の合格を目標とする。 宴会業務の実務に関する知識および日本語 (業界用語・接客用語など) と実技の習得を目標とする。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/ Class 1	宴会部門の実務①基本知識 (ホテルビジネス)			
第2回/ Class 2	宴会部門の実務②主な担当者の業務 (ホテルビジネス)			
第3回/ Class 3	H検定直前対策 過去問題①			
第4回/ Class 4	H検定直前対策 過去問題②			
第5回/ Class 5	H検定直前対策 過去問題③			
第6回/ Class 6	H検定直前対策 過去問題④			
第7回/ Class 7	H検定 本試験			
第8回/ Class 8	H検定 フィードバック			
第9回/ Class 9	サービス実技①サーバーサービス (卓盛・持ち回り) について			
第10回/ Class 10	サービス実技②スープ・コーヒーのサービス方法およびワゴンサービスについて			
第11回/ Class 11	食品衛生および公衆衛生 (料飲接客サービス技法)			
第12回/ Class 12	安全衛生 (料飲接客サービス技法)			
第13回/ Class 13	試験対策①			
第14回/ Class 14	試験対策②			
第15回/ Class 15	後期試験			
第16回/ Class 16	総復習①			
第17回/ Class 17	総復習②			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ホテルビジネス 西洋料理 料飲接客サービス技法 基礎からわかるレストランサービス・スタンダードマニュアル				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title	おもてなし概論Ⅲ		担当教員	実務経験 (有)
			Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次	2年	ホテル日航福岡等でのホテル業務
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 ホテルスタッフそして社会人として必要なビジネスマナーの習得を目指す。				
<b>授業概要 (学修内容・方法) / Course Description</b> 日本のホテル・旅館の就職を目指す学生たちへ、「日本のおもてなし」の基礎の習得。就職向け面接マナーの習得。				
<b>授業目的・到達目標 / Course Objective</b> サービス接客検定3級の取得 ホテル・旅館等の観光産業への就職へ向けての、サービス接客の習得				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/ Class 1	自己紹介 / 授業の目的と目標 / 身だしなみ / 挨拶 / お辞儀の方法			
第2回/ Class 2	身だしなみ / 挨拶 / 返事			
第3回/ Class 3	サービススタッフの資質 (必要とされる要件①②③)	テキスト P14～P29		
第4回/ Class 4	サービススタッフの資質 (従業要件①②③④)	テキスト P30～P47		
第5回/ Class 5	専門知識 (サービス知識①②③)	テキスト P50～P64		
第6回/ Class 6	専門知識 (従業知識)	テキスト P65～P69		
第7回/ Class 7	一般知識 (社会常識①)	テキスト P72～P80		
第8回/ Class 8	一般知識 (社会常識②)			
第9回/ Class 9	対人技能 (人間関係・接客知識)	テキスト P82～P101		
第10回/ Class 10	対人技能 (話し方・服装)	テキスト P102～P120		
第11回/ Class 11	実務技能 (問題処理・環境設備・金品管理・社交業務) ①	テキスト P122～P144		
第12回/ Class 12	実務技能 (問題処理・環境設備・金品管理・社交業務) ②			
第13回/ Class 13	前期試験対策			
第14回/ Class 14	前期試験対策(記述)			
第15回/ Class 15	前期試験			
第16回/ Class 16	前期試験振り返り及び検定対策			
第17回/ Class 17	前期試験振り返り及び検定対策(記述)			
<b>使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material</b> 「サービス接客検定 3級公式テキスト」「サービス接客検定 実問題集 3級」				
<b>成績評価 / Evaluation</b> 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	おもてなし概論IV		担当教員	実務経験 (有)
			Instructor	
開講時期 Term	後期	配当年次	1年	ホテル日航福岡等でのホテル業務
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 ホテルスタッフそして社会人として必要なビジネスマナーの習得を目指す。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 日本のホテル・旅館の就職を目指す学生たちへ、「日本のおもてなし」の基礎の習得。就職向け面接マナーの習得。				
授業目的・到達目標 / Course Objective サービス接客検定 3 級の取得 ホテル・旅館等の観光産業への就職へ向けての、サービス接客の習得と即戦力としての知識取得				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 回/ Class 1	検定対策授業①			
第 2 回/ Class 2	検定対策授業②			
第 3 回/ Class 3	検定対策授業③			
第 4 回/ Class 4	検定対策授業④ (11/6 サービス接客検定)			
第 5 回/ Class 5	サービス接客検定の振り返り			
第 6 回/ Class 6	社会人としての身だしなみ (ジョブパス P38~P43)			
第 7 回/ Class 7	ビジネスの場に相応しい言葉遣い (ジョブパス P56~P61)			
第 8 回/ Class 8	面談の基本マナー・電話対応の重要性 (ジョブパス P68~P69、P114~P121)			
第 9 回/ Class 9	後期試験対策及びビジネス用語の基本① (ジョブパス P144~P153)			
第 10 回/ Class 10	ビジネス用語の基本② (ジョブパス P144~P153)			
第 11 回/ Class 11	ビジネス用語の基本③			
第 12 回/ Class 12	ビジネス用語 尊敬語・謙譲語の使い方			
第 13 回/ Class 13	後期試験対策			
第 14 回/ Class 14	後期試験対策(記述)			
第 15 回/ Class 15	後期試験			
第 16 回/ Class 16	後期試験振り返り			
第 17 回/ Class 17	1 年間の振り返りと 2 年次の目標・課題の発表			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 「サービス接客検定 3 級公式テキスト」 「サービス接客検定 実問題集 3 級」 「ジョブパス 3 級公式テキスト」 「ジョブパス 3 級公式試験問題集」				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ホテル概論&ホテル総合実務Ⅲ		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	前期	配当年次	2年	実務経歴 ホテル日航福岡・ホテルマリノアリゾート等でのホテル業務。
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 ホテル経営・運営、関連法規、調理関連の実務経験を活かした講義・実習授業。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description ホテル経営・運営、関連法規、調理関連の経営・運営方法・関連知識の講義及び実習授業				
授業目的・到達目標 / Course Objective 一般社団法人日本ホテル教育センター認定のホテル・ビジネス実務検定 (H 検定) 2級の合格を目標とする。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/Class 1	H 検定対策 ホテル基礎 世界の宿泊産業			
第2回/Class 2	H 検定対策 ホテル基礎 ホテル産業の位置づけ			
第3回/Class 3	H 検定対策 ホテル基礎 ホテル業の役割			
第4回/Class 4	H 検定対策 ホテル基礎 ホテル商品の特性			
第5回/Class 5	H 検定対策 ホテル基礎 体系的な分類			
第6回/Class 6	H 検定対策 ホテル基礎 変化するトレンド			
第7回/Class 7	H 検定対策 宿泊部門 市場要件からくる特性			
第8回/Class 8	H 検定対策 宿泊部門 収益性に見る特性			
第9回/Class 9	H 検定対策 宿泊部門 宿泊部門の組織			
第10回/Class 10	H 検定対策 宿泊部門 各セクションの業務と役割			
第11回/Class 11	H 検定対策 宿泊部門 付帯部門の業務			
第12回/Class 12	H 検定対策 調理部門 メインキッチン (主厨房) 課の業務			
第13回/Class 13	H 検定対策 調理部門 宴会調理課の業務			
第14回/Class 14	H 検定対策 調理部門 レストラン調理課の業務			
第15回/Class 15	前期末試験対策			
第16回/Class 16	前期末試験			
第17回/Class 17	前期末試験フィードバック			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ホテル・ビジネス 基礎編 ホテルビジネス練習過去問題集				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ホテル概論&ホテル総合実務Ⅳ		担当教員 Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	後期	配当年次	2年	ホテル日航福岡・ホテルマリノアリ ゾート等でのホテル業務。
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 ホテル経営・運営、関連法規、調理関連の実務経験を活かした講義・実習授業。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description ホテル経営・運営、関連法規、調理関連の経営・運営方法・関連知識の講義及び実習授業				
授業目的・到達目標 / Course Objective 一般社団法人日本ホテル教育センター認定のホテル・ビジネス実務検定 (H 検定) 2級の合格を目標とする。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/Class 1	H 検定対策 ホテル基礎 テキストおよび過去問題集活用			
第2回/Class 2	H 検定対策 ホテル基礎 テキストおよび過去問題集活用			
第3回/Class 3	H 検定対策 宿泊部門 テキストおよび過去問題集活用			
第4回/Class 4	H 検定対策 宿泊部門 テキストおよび過去問題集活用			
第5回/Class 5	H 検定対策 調理部門 テキストおよび過去問題集活用			
第6回/Class 6	H 検定対策 総合 (ホテル基礎・宿泊部門・調理部門) 模擬試験 試験前最終確認			
第7回/Class 7	ホテルビジネス実務検定試験 (ベーシックレベル 2 級) 会場: 福岡外語専門学校			
第8回/Class 8	H 検定試験フィードバック 50 問			
第9回/Class 9	H 検定試験フィードバック 50 問			
第10回/Class 10	H 検定試験フィードバック 50 問			
第11回/Class 11	H 検定試験フィードバック 50 問			
第12回/Class 12	後期末試験対策 ホテル基礎			
第13回/Class 13	後期末試験対策 宿泊部門			
第14回/Class 14	後期末試験対策 ホテル基礎 宿泊部門 調理部門			
第15回/Class 15	後期末試験			
第16回/Class 16	後期末試験フィードバック			
第17回/Class 17	卒業に際して 2 年間の振り返りおよび今後の進路について			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ホテル・ビジネス 基礎編 ホテルビジネス練習過去問題集				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ホテル英会話Ⅲ		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	前期	配当年次	2年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	

実務経験に基づいた授業内容・方法：様々な国の宗教や環境を勉強し相手を思いやる行動を取れるようにする。英語が母国語でない方に対して聞き取りやすく理解しやすい英語を話せるようにする。

## 授業概要 (学修内容・方法) / Course Description

ロールプレイ、ディスカッション、プレゼンテーションを中心とし、クラス全体でコミュニケーションをとりながら自発性と自然な英語を習得する。

## 授業目的・到達目標 / Course Objective

基礎的な文法と語彙また正しい発音を学び、応用力のある英語を身につける。

回数 / 週	授業計画 / Course Schedule
第1回/ Class 1	Unit 1 Dealing with incoming calls
第2回/ Class 2	Unit 2 Customer information
第3回/ Class 3	Unit 3 Taking reservations
第4回/ Class 4	Unit 4 Dealing with booking enquiries
第5回/ Class 5	Unit 5 Correspondence
第6回/ Class 6	Unit 6 Welcoming guests
第7回/ Class 7	Unit 7 Dealing with check-in problems
第8回/ Class 8	Unit 8 Explaining how things work in the hotel room
第9回/ Class 9	Unit 9 Serving drinks
第10回/ Class 10	Unit 10 Food service
第11回/ Class 11	Unit 11 Know your region
第12回/ Class 12	Unit 12 Explaining travel options
第13回/ Class 13	Unit 13 Giving directions
第14回/ Class 14	Unit 14 Meeting customer needs
第15回/ Class 15	Unit 15 Complaints and apologies
第16回/ Class 16	Review for test
第17回/ Class 17	Review for test

## 使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material

ホテルビジネス基礎編 + ハンドアウト+ English for the hotel and catering industry

## 成績評価 / Evaluation

成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。

## 備考 / Memo



## 2024年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ホテル英会話Ⅳ		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	後期	配当年次	1年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法：様々な国の宗教や環境を勉強し相手を思いやる行動を取れるようにする。英語が母国語でない方に対して聞き取りやすく理解しやすい英語を話せるようにする。				
<b>授業概要 (学修内容・方法) / Course Description</b> ロールプレイ、ディスカッション、プレゼンテーションを中心とし、クラス全体でコミュニケーションをとりながら自発性と自然な英語を習得する。				
<b>授業目的・到達目標 / Course Objective</b> 基礎的な文法と語彙また正しい発音を学び、応用力のある英語を身につける。				
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule			
第1回/ Class 1	Unit 1 Dealing with incoming calls 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第2回/ Class 2	Unit 2 Customer information 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第3回/ Class 3	Unit 3 Taking reservations 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第4回/ Class 4	Unit 4 Dealing with booking enquiries 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第5回/ Class 5	Unit 5 Correspondence 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第6回/ Class 6	Unit 6 Welcoming guests 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第7回/ Class 7	Unit 7 Dealing with check-in problems 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第8回/ Class 8	Unit 8 Explaining how things work in the hotel room 1st,2nd. TOEIC Listening practice			
第9回/ Class 9	Unit 9 Serving drinks 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第10回/ Class 10	Unit 10 Food service 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第11回/ Class 11	Unit 11 Know your region 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第12回/ Class 12	Unit 12 Explaining travel options 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第13回/ Class 13	Unit 13 Giving directions 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第14回/ Class 14	Unit 14 Meeting customer needs 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第15回/ Class 15	Unit 15 Complaints and apologies 1st,2nd half. TOEIC Listening practice			
第16回/ Class 16	Review for test			
第17回/ Class 17	Review for test			
<b>使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material</b> ホテルビジネス基礎編 + ハンドアウト+ English for the hotel and catering industry				
<b>成績評価 / Evaluation</b> 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				



授業科目 Course Title	総合日本語 III		担当教員	実務経験 ( )
			Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次	2年	実務経歴
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数	17回	授業時間	5単位時間	

実務経験に基づいた授業内容・方法

テキスト+副教材を使用し、読む・聞く・書く・話すの四技能をバランスよく伸ばしていく授業をしていく。

### 授業概要（学修内容・方法） / Course Description

当該課で必要な文法を導入後、練習。次に、新出語彙の確認し、本文精読をする。その際、内容の確認のためにハンドアウトなどを使用。その後、その当該課のトピックを使ったディスカッションや作文、意見発表等をする。新出漢字については毎時間最初に4～5個進める。課の最後に漢字・語彙・文法のまとめ問題をする。毎回ではないが、副教材の読解や聴解を適宜入れる。

### 授業目的・到達目標 / Course Objective

日常生活での出来事や社会的な話題について日本語で理解ができ、なおかつ自分の考えや意見が理由とともに説明できる、また、異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見が交換できることを目標に日本語力を四技能バランスよく伸ばすことを目指す。

回数 / 週	授業計画 / Course Schedule
第1回/ Class 1	第1課 漢字、使いましょう（文法）
第2回/ Class 2	第1課 漢字、使いましょう（文法続き）復習、新出語彙、いっしょに考えましょう
第3回/ Class 3	第1課 漢字、本文精読（+答えましょう）、話しましょう
第4回/ Class 4	第1課 漢字、復習（使いましょう、語彙、漢字）
第5回/ Class 5	第2課 漢字、使いましょう（文法）
第6回/ Class 6	第2課 漢字、使いましょう（文法続き）復習、新出語彙、いっしょに考えましょう
第7回/ Class 7	第2課 漢字、本文精読（+答えましょう）、話しましょう
第8回/ Class 8	第2課 漢字、復習（使いましょう、語彙、漢字）
第9回/ Class 9	第3課 漢字、使いましょう（文法）
第10回/ Class 10	第3課 漢字、使いましょう（文法）復習、新出語彙、いっしょに考えましょう
第11回/ Class 11	第3課 漢字、本文精読（+答えましょう）、話しましょう
第12回/ Class 12	第3課 漢字、復習（使いましょう、語彙、漢字）
第13回/ Class 13	第1課 総復習
第14回/ Class 14	第2課 総復習
第15回/ Class 15	第3課 総復習
第16回/ Class 16	前期テスト
第17回/ Class 17	テストF B、その他

### 使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material

・テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版 本冊 ・テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版 ワークブック

### 成績評価 / Evaluation

成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。

### 備考 / Memo

## 2024年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	総合日本語IV		担当教員 Instructor	実務経験 ( )
開講時期 Term	後期	配当年次	2年	
授業形態	講義	単位区分	必修	実務経歴
授業回数	17回	授業時間	5単位時間	

実務経験に基づいた授業内容・方法

テキスト+副教材を使用し、読む・聞く・書く・話すの四技能をバランスよく伸ばしていく授業をしていく。

### 授業概要（学修内容・方法） / Course Description

当該課で必要な文法を導入後、練習。次に、新出語彙の確認し、本文精読をする。その際、内容の確認のためにハンドアウトなどを使用。その後、その当該課のトピックを使ったディスカッションや作文、意見発表等をする。新出漢字については毎時間最初に4～5個進める。課の最後に漢字・語彙・文法のまとめ問題をする。毎回ではないが、副教材の読解や聴解を適宜入れる。

### 授業目的・到達目標 / Course Objective

日常生活での出来事や社会的な話題について日本語で理解ができ、なおかつ自分の考えや意見が理由とともに説明できる、また、異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見が交換できることを目標に日本語力を四技能バランスよく伸ばすことを目指す。

回数 / 週	授業計画 / Course Schedule
第1回/ Class 1	第4課 漢字、使いましょう（文法）
第2回/ Class 2	第4課 漢字、使いましょう（文法）復習、新出語彙、いっしょに考えましょう
第3回/ Class 3	第4課 漢字、本文精読（+答えましょう）、話しましょう
第4回/ Class 4	第4課 漢字、復習（使いましょう、語彙、漢字）
第5回/ Class 5	第5課 漢字、使いましょう（文法）
第6回/ Class 6	第5課 漢字、使いましょう（文法）復習、新出語彙、いっしょに考えましょう
第7回/ Class 7	第5課 漢字、本文精読（+答えましょう）、話しましょう
第8回/ Class 8	第5課 漢字、復習（使いましょう、語彙、漢字）
第9回/ Class 9	第6課 漢字、使いましょう（文法）
第10回/ Class 10	第6課 漢字、使いましょう（文法）復習、新出語彙、いっしょに考えましょう
第11回/ Class 11	第6課 漢字、本文精読（+答えましょう）、話しましょう
第12回/ Class 12	第6課 漢字、復習（使いましょう、語彙、漢字）
第13回/ Class 13	第4課 総復習
第14回/ Class 14	第5課 総復習
第15回/ Class 15	第6課 総復習
第16回/ Class 16	後期テスト
第17回/ Class 17	テストFB、その他

### 使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material

・テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版 本冊      ・テーマ別 中級から学ぶ日本語 三訂版 ワークブック

### 成績評価 / Evaluation

成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。

### 備考 / Memo

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		国際関係概論Ⅱ		担当教員	実務経験 ( )
開講時期 Term		後期	配当年次	Instructor	
授業形態	講義	単位区分	必修	実務経歴	
授業回数	17回	授業時間	1単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法					
ディスカッションや小論文を書いて意見が述べられるようにする。その際の日本語の使い方などを指導する。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description					
主に時事問題を取り上げ、問題の原因や対策を分析する。また、日本文化や習慣も取り上げ、母国との比較を行うことで国際的で柔軟な思考力を身に付ける。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
取り上げたトピックについてのディスカッションや発表を通じて、意見を効果的に伝える力を身に付ける。					
回数 / 週	授業計画 / Course Schedule				
第1回/ Class 1	映像教材 → 意見を書く				
第2回/ Class 2	前回のFB → 意見の発表				
第3回/ Class 3	映像教材 → グループワーク				
第4回/ Class 4	前回のグループワークの続き				
第5回/ Class 5	グループワーク発表				
第6回/ Class 6	映像教材 → 意見を書く				
第7回/ Class 7	前回のFB → 意見の発表				
第8回/ Class 8	予備日 (発表が長引いた場合) 何もない場合はSPI問題などで対応				
第9回/ Class 9	映像教材 → グループワーク				
第10回/ Class 10	前回のグループワークの続き				
第11回/ Class 11	グループワーク発表				
第12回/ Class 12	映像教材 → グループワーク				
第13回/ Class 13	前回のグループワークの続き				
第14回/ Class 14	グループワーク発表				
第15回/ Class 15	予備日 (発表が長引いた場合) 何もない場合はSPI問題、前回までの復習等で対応				
第16回/ Class 16	後期試験				
第17回/ Class 17	試験FB他				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
・映像教材 (新聞記事等に変更する場合もある)					
成績評価 / Evaluation					
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	キャリアデザインⅡ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験 ( 有 )
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数 Number of Classes	17 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 実務において生かせる行動特性を意識できるよう指導する				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 自己分析を経験させる。また企業分析の知識を理解することで 2 年次の就職活動実践に活かす。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 自分のキャリアを主体的に考えられる力を身につける。企業分析の方法を知り実践できる。 日本企業の仕組みや採用活動の概要を理解し、日本での就労に向けた就職活動を行う力を養う。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	面接の受け方 概要			
第 3 週/ Week 3	面接での問答作成 自己紹介			
第 4 週/ Week 4	業界・企業研究① 概要			
第 5 週/ Week 5	業界・企業研究② 事例を基にして、企業研究の方法を知る			
第 6 週/ Week 6	業界・企業研究③ 自国の日系企業を企業研究の実践			
第 7 週/ Week 7	面接での問答作成 志望動機①			
第 8 週/ Week 8	面接での問答作成 志望動機②			
第 9 週/ Week 9	面接での問答作成 志望動機③			
第 10 週/ Week 10	面接の受け方実践練習			
第 11 週/ Week 11	模擬面接① (集団面接)			
第 12 週/ Week 12	模擬面接② (集団面接)			
第 13 週/ Week 13	模擬面接③ (集団面接)			
第 14 週/ Week 14	これまでのまとめ			
第 15 週/ Week 15	前期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	前期全体振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 補助教材『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』 適宜、プリントや PPT ハンドアウトを配布				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		インターンシップ		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term		前期	配当年次	2 年	実務経歴 / Work Experience
授業形態		実習	単位区分	必修	
授業回数 Number of Classes		5 回/ 1 人	授業時間 Class Hours	1 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience					
実際のホテルでフロント、宴会、レストラン、ハウスキーピング等の実施をする。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description					
インターンシップ覚書締結のホテル各社にグループ毎に、週 1 回ペースで実習に行き、期末にホテルからの評価を頂く。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
実習を通じたホテル業務の習得					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1					
第 2 週	①インターンシップ締結先ホテルとの協議により、スケジュールを決定し、これに基づいて実習を実施する。 ②インターンシップを実施する。 ③期末にホテル様から評価票を受領する。 ④インターンシップ後、毎回生徒より報告書を提出。 ⑤出席率、③④を合わせて成績の評価を行う。				
第 3 週					
第 4 週					
第 5 週					
第 6 週					
第 7 週					
第 8 週					
第 9 週					
第 10 週					
第 11 週					
第 12 週					
第 13 週					
第 14 週					
第 15 週					
第 16 週					
第 17 週/ Week 17					
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
なし					
成績評価 / Evaluation					
ホテル様からの評価票をベースに総合的に A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

## 2024 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2024 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		インターンシップ		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term	後期	配当年次	2 年	実務経験 ( )	
授業形態	実習	単位区分	必修	実務経歴 / Work Experience	
授業回数 Number of Classes	5 回/ 1 人	授業時間 Class Hours	1 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience					
実際のホテルでフロント、宴会、レストラン、ハウスキーピング等の実施をする。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description					
インターンシップ覚書締結のホテル各社にグループ毎に、週 1 回ペースで実習に行き、期末にホテルからの評価を頂く。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
実習を通じたホテル業務の習得					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	①インターンシップ締結先ホテルとの協議により、スケジュールを決定し、これに基づいて実習を実施する。 ②インターンシップを実施する。 ③期末にホテル様から評価票を受領する。 ④インターンシップ後、毎回生徒より報告書を提出。 ⑤出席率、③④を合わせて成績の評価を行う。				
第 2 週/ Week 2					
第 3 週/ Week 3					
第 4 週/ Week 4					
第 5 週/ Week 5					
第 6 週/ Week 6					
第 7 週/ Week 7					
第 8 週/ Week 8					
第 9 週/ Week 9					
第 10 週/ Week 10					
第 11 週/ Week 11					
第 12 週/ Week 12					
第 13 週/ Week 13					
第 14 週/ Week 14					
第 15 週/ Week 15					
第 16 週/ Week 16					
第 17 週/ Week 17					
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
なし					
成績評価 / Evaluation					
ホテル様からの評価票をベースに総合的に A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					